

clarion

取扱説明書

D R Z
9 2 5 5
Special Edition

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところ（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

はじめに

■主な特長

主な特長	5
------------	---

■ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために	7
安全上のご注意	8

■取扱上のご注意

ご確認事項	10
本体のお手入れについて	10
ディスプレイについて	10
エラー表示について	10
CDの演奏について	11
CD取扱上のご注意	11

本機の使用

■各部の名称とはたらき

本機を操作するボタン	12
システムチェック時のディスプレイ表示	14
ディスプレイ表示	15
(付属)リモコン(RCB-169)の使いかた	16

■基本の使用

電源を入れる	18
モードを選ぶ	18
音量を調節する	18
時刻を合わせる	19
表示を切り換える	20
タイトル表示を切り換える	21
タイトルをスクロールさせる	21
音を消す(ミュート)	21
サブウーファー/ノンフェーダー出力を調整する	22
音質を調整する(バス/トレブル)	23
バランス/フェーダーを調整する	23

■ラジオを聴く

ラジオモードを選ぶ	24
受信バンドを切り換える	24
自動選局する(シーク選局)	24
手動選局する(マニュアル選局)	24
プリセット選局する	25
プリセットメモリーする	25
自動メモリーする(オートストア機能)	26
放送を確かめる(プリセットスキャン)	26

■CDを聴く

ディスクを入れる	27
ディスクを取り出す	27
すでに入っているディスクを聴く	27
曲を選ぶ	28
演奏を止める(一時停止する)	28
早送り/早戻しする	28
最初の曲から聴く(トップ機能)	28
聴きたい曲を探す(スキャン演奏)	29
1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)	29
ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)	29

■設定を変更する(アジャストモード)

設定項目を選ぶ	30
サンプリング周波数を選択する(SAMPLING)	31
オーディオモードを選ぶ(MODE)	31
4WAYクロスオーバーネットワークについて	32
フィルターを調整する(FILTER/X-OVER)	34
ポジションを調整する(TIME ALIGN)	36
P.EQを調整する	38
フィルター設定/タイムアライメント設定/P.EQ設定を 保存する(MEMORY)	41
イコライザーモードを選ぶ(EQ SELECT)	42
サブウーファー/ノンフェーダーを設定する (SUB-WOOFER/NON-FADER)	43
携帯用オーディオの入力レベルを設定する(AUX SENS)	44
デジタルアウトを設定する(D-OUT)	45
盗難抑止インジケータの設定(BLINK LED)	45
ボタン操作時のピープ音を設定する(BEEP)	46
TV受信時の主音声/副音声を設定する(MAIN/SUB)	46
TVダイバーシティーを設定する(TV DIVER)	47

外部機器の使用

■CDチェンジャーを操作する

チェンジャーモードを選ぶ	48
聴きたいディスクを選ぶ	48
曲を選ぶ	49
早送り/早戻しする	49
演奏を止める(一時停止をする)	49
聴きたい曲を探す(スキャン演奏)	49
聴きたいディスクを探す(ディスクスキャン演奏)	49
1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)	50
1枚のディスクを繰り返し聴く(ディスクリピート演奏)	50
ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)	51
全ディスクの演奏をランダムに聴く(ディスクランダム演奏)	51

■ テレビを見る

TVモードを選ぶ	52
受信バンドを切り換える	52
自動選局する(シーク選局)	53
手動選局する(マニュアル選局)	53
プリセット選局する	53
プリセットメモリーする	53
自動メモリーする(オートストア機能)	54
ステレオ/モノラル音声を切り換える	54
放送を確かめる(プリセットスキャン)	54
ビデオを見る	54

■ MDデッキでグループ編集MDを聴く

グループ機能をON/OFFする	55
グループ編集MDを演奏する	55
グループを切り換える	56
聴きたいグループを探す(グループスキャン演奏)	56
1つのグループを繰り返し聴く(グループリピート演奏)	56
全グループの演奏をランダムに聴く(グループランダム演奏)	56

■ 携帯用オーディオを聴く(AUXモード)

AUXモードに切り換える	57
AUXモードを選ぶ	57

その他

システムアップについて	58
CeNETケーブルについて	59
故障と思われる前に	59
エラー表示について	61
仕様	62
タイムアライメントリスト	64
SOUND設定メモ	66
アフターサービスについて	裏表紙

主な特長

本機は、AM/FMラジオとCDを内蔵し、別販のMDデッキ、CDチェンジャー、TVチューナーを接続してコントロールできるCeNET結線対応の1DINセンターユニットです。

■ 高機能回路を搭載

- 96kHzハイサンプリングコンバート回路搭載
- バーブラウン製0.5dBステップ電子ボリューム回路搭載
- 8ch独立タイムアライメント機能
0~512.4cm(717ステップ・約0.7cm間隔)
- 左右独立5BANDパラメトリックイコライザー機能
中心周波数 f_0 :50~20kHz(1/3オクターブステップ)
ゲイン:±12dB(0.5dBステップ・49ポイント)
Qカーブ:0.5~12.0(0.5ステップ・24ポイント)
- リアテクノロジー製高速スルーレートオペアンプ搭載

■ 3種類のオーディオモード

- 4WAYクロスオーバーネットワーク搭載で、以下の3つのシステムに発展可能
マルチモード
(HIGH+MID+LOW+SUB-WOOFER)
スタンダードモード
(FRONT2WAY+REAR+SUB-WOOFER)
ダイレクトモード
(FRONT+REAR+NON-FADER)

■ セパレートDC/DCコンバーター採用

- MOS-FET、PWM方式の±15V外部電源採用により、RCA出力最大8Vrmsを実現
- 駆動電圧を上げて、ノンクリップ8Vのハイボルテージアウトプットを実現。また本体との分離により、優れたSN比を確保しています。
- アルミ製アッパーカバー、および純銅製黒塗装口アーケースを採用
- 金メッキ電源接続ターミナル採用

■ 外部出力用高純度OFC RCAケーブルを採用

- 銀コーティングシールド+6N(99.9999%)無酸素銅線RCA出力ケーブルを採用

■ 徹底したノイズ除去設計

- 専用CDメカニズムシールドを採用
- ガラスエポキシ4層基板を採用
- ディスプレイOFF機能を搭載
- 全面銅メッキシャーシを採用により、迷走電流や外部ノイズの侵入を低減します。

■ CDプレーヤー部

- バーブラウン製24bit D/Aコンバーター搭載
- SN比112dB、ダイナミックレンジは100dBと高性能です。
- 8倍オーバーサンプリングデジタルフィルター採用
- CD-R/RW再生対応
- CDテキスト再生対応
- CD内の各曲や各CDの1曲目を10秒間ずつ再生するスキャン機能
- 演奏中の曲やCDを繰り返し演奏するリピート機能
- 1枚のCDまたは全CDの曲を順不同に演奏するランダム機能

■ 光デジタル入出力端子を装備

- サンプリング周波数32kHz、44.1kHz、48kHz、96kHzに対応しています。(入力時のみ)
- CDチェンジャー等デジタルダイレクト結線時は、本機のD/Aコンバーターを介して、ハイクオリティサウンドを実現します。(別販デジタル光ファイバーケーブルが必要です。)

■ 表示/操作部

- ディスプレイには視認性に優れた広視野角VFD(蛍光表示管)を採用。視認性と操作性が大幅に向上しています。
- 高品位ブルー照明。高輝度ブルーLEDの採用により、視認性と質感が向上しています。

■主な特長

■ ラジオチューナー部

- メモリーした放送局を順に受信するプリセットスキャン機能

■ 携帯用オーディオ入力機能(AUX入力)

- ポータブルMD等が接続できる2系統AUX入力端子(RCA)を装備

■ リモートコントローラー対応

- 付属のリモコンで主なオーディオ操作が可能

■ **CeNET** (Clarion Entertainment Network:シーイーネット)結線対応

- 外部機器との結線に、CeNET方式を採用。これにより、複数の外部機器を接続する場合も中継ボックスが必要ありません。
- CDチェンジャーを合計2台まで接続および操作できるチェンジャーコントロール機能

■ MDデッキコントロール (別販品接続時)

- MDLP対応
- スキャン/リピート/ランダム機能
- グループ編集MD再生機能付デッキの場合は、グループ編集されたMDを、グループ単位で演奏が可能

■ CDチェンジャーコントロール (別販品接続時)

- スキャン/リピート/ランダム機能
- ディスクスキャン/ディスクリピート/ディスクランダム機能

■ TVチューナーコントロール (別販品接続時)

- メモリーした放送局を順に受信するプリセットスキャン機能

■ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中には具体的な注意内容(左図の場合は指はさまれ注意)が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中には具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

- 安全のため、ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとはいつでも見られる所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

■ご使用の前に

安全上のご注意

■使用上のご注意

⚠ 警告

●走行中は運転者による操作をしない…

運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。



●走行中はピラーアンテナやルーフアンテナの引き伸ばし操作をしない…

運転操作に支障をきたし、事故の原因となります。



●本機を分解したり、改造しない…

事故や火災、感電の原因となります。



●ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談してください。



●万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談する…

そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。



●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



●本機の取り付け及び取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご依頼する…

専門技術と経験が必要です。



⚠ 注意

●運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。



●ディスク挿入口に手や指を入れない…

ケガの原因となることがあります。



●ディスク挿入口に異物を入れない…

火災や感電の原因となることがあります。



●本機を車載用以外には使用しない…

感電やケガの原因となることがあります。



●アンテナは、折れ曲がった状態で使用しない…

歩行者などに接触してケガの原因となることがあります。



●樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない…

部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。



●電源を切るときは、音量を最小にする…

電源ON時に突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



ご確認事項

- 車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、CDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。

CDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておく、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。

-  または  マークのついたCDをご使用ください。また、ハート形や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。

- CD-R/CD-RWを使用する場合は、音楽用CD-R/CD-RWを使用してください。また、CD-R/CD-RWで記録されたディスクは、録音状態によっては使用できない場合があります。

- 各種コピーコントロールCDは、CD規格に合致しない特殊ディスクであり、弊社としてはCD再生機器における再生保証は致しかねます。
万が一、このような特殊ディスクの再生に支障がある場合には、CDの発売元にお問い合わせください。

- CeNET接続ケーブルの最大配線長は、20m以下(CeNET分岐ケーブルCCA-519含む)です。接続の際は、下表をご参照のうえ、配線長が20mを越えないように、注意してください。

- 本機および外部機器を取り付けまたは取り外すときは、電源をOFFにしてから作業を行ってください。システム動作中に作業を行うと故障の原因となります。

- 本製品は、パワーアンプを内蔵しておりません。(別販)外部パワーアンプと組み合わせてご使用ください。

本体のお手入れについて

- 本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



⚠ 注意

樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

ディスプレイについて

- 本機のディスプレイ部(アクリル部品)の一部分に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。

- 直射日光などの関係より、製品に光が反射する恐れがございます。運転の際は十分注意して頂きますようお願い致します。

エラー表示について

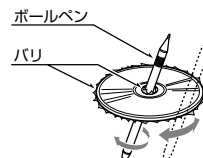
- 本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。ディスプレイにエラーが表示されたときには、「エラー表示について」(61ページ)の項目を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

CDの演奏について

- 本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。
- CDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。
- 8cmシングルCDをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

CD取扱い上のご注意

- CD-R/CD-RWは、通常の音楽CDに比べ高温多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。車室内に長時間、放置しないようにしてください。
- 記録面に、傷、指紋、ほこり、汚れ等をつけないように扱ってください。
- レーベル面(印刷面)や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレイヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- 新しいディスクには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。ディスクにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



- 汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かってよくふいてください。(レコードクリーナー液やアルコールなどは、使用しないでください。)

■保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 暖房の熱が直接当たる場所

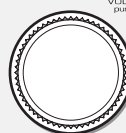
各部の名称とはたらき

本機を操作するボタン



イジェクトボタン

- ディスクが入っているときに押すと、ディスクがイジェクトされます。



ロータリーボリューム

- 音量を調節します。
- 押し続ける(約1秒間)と、音量が1dBステップから0.5dBステップに切り換わります。
- 押すと消音(ミュート)します。



オーディオモードボタン

- 音質・バランス/フェダーを調整します。
- 押し続ける(約1秒間)と、ディスプレイ表示を消灯します。



アジャストボタン

- 各種設定や調整をするときに使います。
- 押し続ける(約1秒間)と、CD/MDのタイトル表示をスクロールします。



ディスプレイボタン

- ディスプレイ表示を切り換えます。
- タイトル表示中に押し続ける(約1秒間)と、タイトル表示を切り換えます。



ファンクションボタン

- 電源を入れ、各モードに切り換えます。電源を切るときは押し続けます。(約1秒間)



サーチボタン

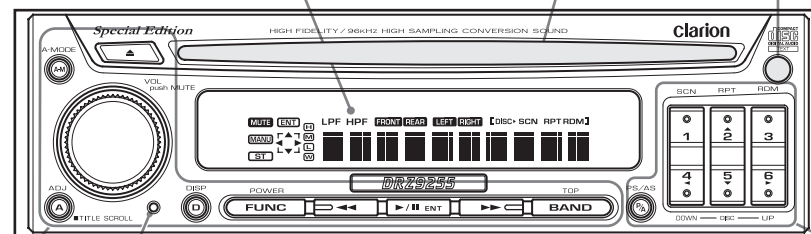
- ラジオ/TVモード時は、選局に使います。
- CD/MDデッキ/チェンジャーモード時は、選曲に使います。押し続けると早送り/早戻しを行います。



ディスプレイ部
選局/演奏状態の各情報を表示します。

ディスク挿入口

リモコン受光部



リセットボタン



プレイ/ポーズボタン

- CD/MDデッキ/チェンジャーモード時は、演奏を一時停止をします。
- 各種設定を決定します。
- TVモード時は、VTRに切り換えます。また、押し続ける(約1秒間)と、ステレオ/モノラル音声を切り換えます。



バンドボタン

- ラジオ/TVモード時は、受信バンドを切り換えます。また、押し続ける(約1秒間)と、自動選局か手動選局に切り換えます。
- CD/MDデッキモード時は、最初の曲を演奏します。(トップ機能)
- MDデッキ/グループ編集MD再生時に、押し続ける(約1秒間)と、グループ機能をオン/オフします。
- チェンジャーモード時は、ディスクを切り換えます。(ディスクアップ機能)



1/スキャンボタン

- CD/MDデッキ/チェンジャーモード時に、約10秒間ずつスキャン演奏します。



2/リピートボタン

- CD/MDデッキ/チェンジャーモード時に、繰り返し演奏します。



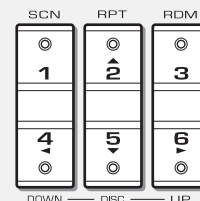
3/ランダムボタン

- CD/MDデッキ/チェンジャーモード時に、ランダム演奏をします。



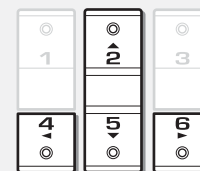
プリセットスキャンボタン

- ラジオ/TVモード時に、プリセットメモリされている放送局を順に確認できます。
- ラジオ/TVモード時に、押し続ける(約2秒間)と、放送局を自動的にメモリーします。(オートストア機能)



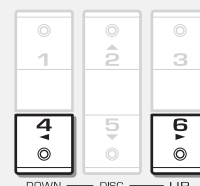
1~6/ダイレクトボタン

- ラジオ/TVモード時に、放送局をプリセットメモリーします。
- ラジオ/TVモード時に、メモリーされている放送局を呼出します。



カーソルボタン

- アジャストモードの項目を選択・調整するときに使います。

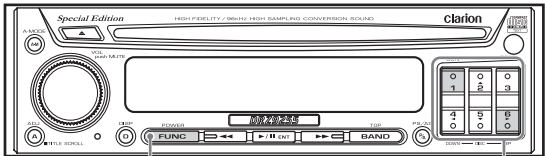


4,6/ディスク選択ボタン

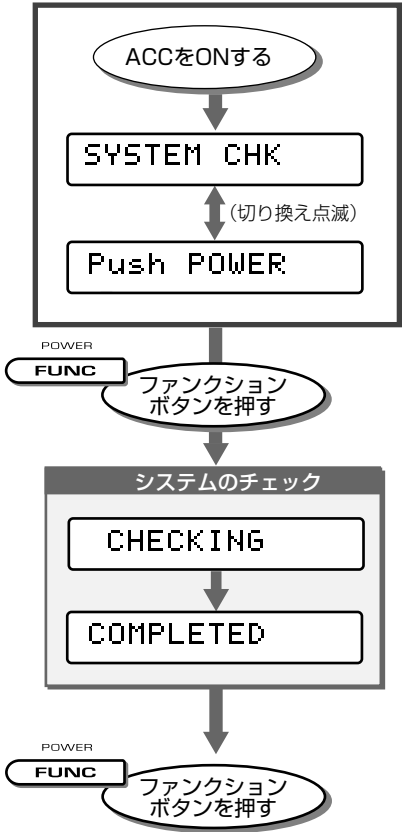
- チェンジャーモード時は、ディスクを切り換えます。
- MDデッキモード時は、グループを切り換えます。

各部の名称とはたらき

システムチェック時のディスプレイ表示



1、6ダイレクトボタン
ファンクションボタン



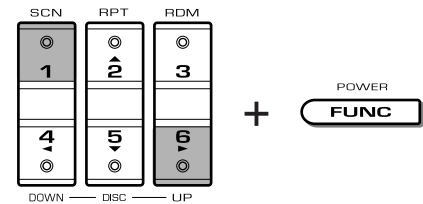
システムチェックについて

本機に採用されているCeNET方式はシステムチェック機能を採用しています。
ディスプレイのシステムチェック表示は次のようなときに表示されますので、電源ボタンを2回押して通常モードに戻してください。

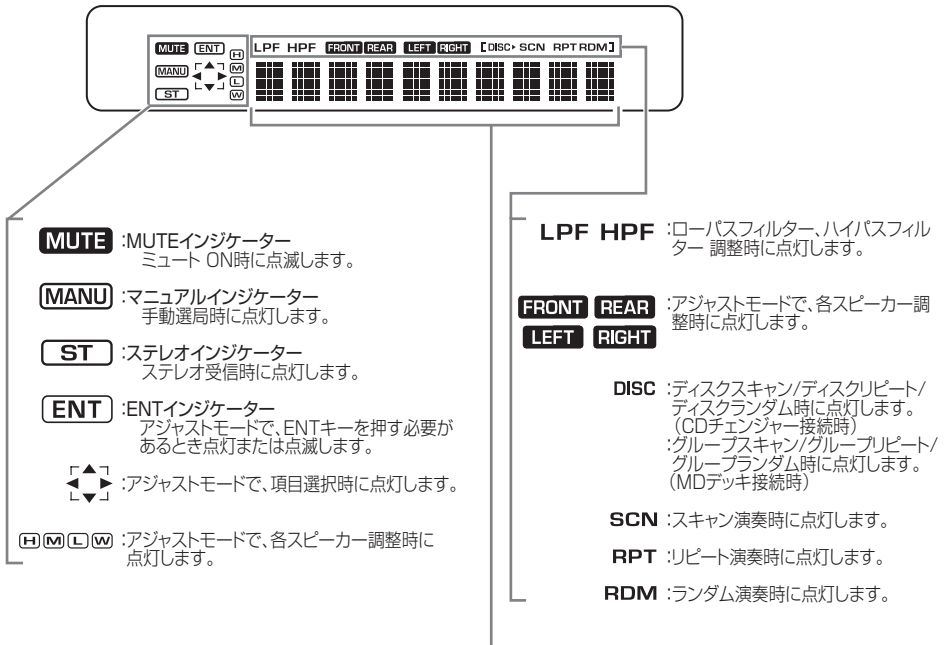
- 本機の取り付け直後に電源を入れたとき
- 外部機器を接続または取り外したとき
- バッテリー交換等で電源が切れたとき
- リセットボタンを押したとき

(別販) 光ファイバーケーブル接続時のご注意

本機に追加でデジタル光ファイバーケーブルを接続したとき、または取り外したときは、必ずシステムチェックを行ってください。
システムチェックは、アクセサリ電源 (ACC) をONおよび、本機の電源をOFFにして、ダイレクトボタンの 1 と 6 を押しながらファンクションボタンを押してください。
リセットボタンを押してもシステムチェックを行えますが、全てのメモリー内容が消去されますのでご注意ください。



ディスプレイ表示



- MUTE** :MUTEインジケーター
ミュート ON時に点滅します。
- MANU** :マニュアルインジケーター
手動選局時に点灯します。
- ST** :ステレオインジケーター
ステレオ受信時に点灯します。
- ENT** :ENTインジケーター
アジャストモードで、ENTキーを押す必要があるとき点灯または点滅します。
- ◀▶** :アジャストモードで、項目選択時に点灯します。
- H M L W** :アジャストモードで、各スピーカー調整時に点灯します。

- LPF HPF** :ローパスフィルター、ハイパスフィルター 調整時に点灯します。
- FRONT REAR** :アジャストモードで、各スピーカー調整時に点灯します。
- LEFT RIGHT** :アジャストモードで、各スピーカー調整時に点灯します。
- DISC** :ディスクスキャン/ディスクリピーター/ディスクランダム時に点灯します。
(CDチェンジャー接続時)
:グループスキャン/グループリピーター/グループランダム時に点灯します。
(MDデッキ接続時)
- SCN** :スキャン演奏時に点灯します。
- RPT** :リピーター演奏時に点灯します。
- RDM** :ランダム演奏時に点灯します。

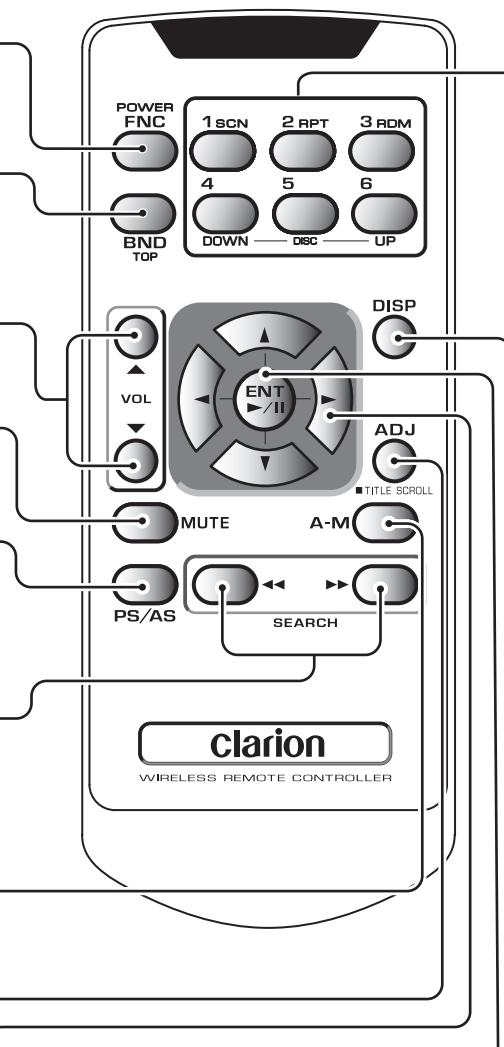
＜表示内容＞

- ・ラジオモード時の表示
 - AM1 594 :AM受信バンドと周波数表示
 - FM1 79.5 :FM受信バンドと周波数表示
 - AUTO STORE :オートストア選択時に表示
 - PRESET SCN :プリセットスキャン中に表示
- ・CDモード時の表示
 - 01 00:15 :演奏トラックと演奏時間
 - PAUSE :ポーズ中 (一時停止)
 - EJECT :CDイジェクトしたとき
 - LOADING :CDを挿入したとき
 - NO DISC :CDが挿入されていないとき
 - T-SCAN :トラックスキャンのとき
 - T-REPEAT :トラックリピーターのとき
 - T-RANDOM :トラックランダムのとき
- ・CDチェンジャー時の表示
 - D 01 T 01 :演奏ディスクと演奏トラック
 - PAUSE :ポーズ中 (一時停止)
 - NO MAG :CDチェンジャーにマガジンがセットされていないとき
 - T-SCAN :トラックスキャンのとき
 - T-REPEAT :トラックリピーターのとき
 - T-RANDOM :トラックランダムのとき
 - D-SCAN :ディスクスキャンのとき
 - D-REPEAT :ディスクリピーターのとき
 - D-RANDOM :ディスクランダムのとき
- ・その他の表示
 - AM 1:05 :時計表示

本機の操作

(付属)リモコン(RCB-169)の使いかた

- 電源をON/OFFする/モードを選ぶ**
ファンクションボタン
- 電源が入ります。また、押すたびにモードが切り換わります。
 - 押し続ける(1秒間)と、電源が切れます。
- バンドを切り換える/最初の曲から演奏する**
バンドボタン
- 受信バンドを切り換えます。(ラジオ/TVモード時)
 - 最初の曲から演奏します。(CD/MDデッキモード時)
 - 次のディスクに切り換えます。(チェンジャーモード時)
- 音量を調節する**
▲▼ (ボリューム) ボタン
- 音量を調節します。
- 音を消す**
ミュートボタン
- ミュート(消音)します。
- 放送局を確かめる**
プリセットスキャンボタン
- プリセットした放送局を確認できます。(ラジオ/TVモード時)
 - 押し続ける(約2秒間)と放送局を自動的にメモリーします。(ラジオ/TVモード時)
- 選曲する/選局する**
◀▶ サーチボタン
- 押した回数だけ先の曲、または前の曲を演奏します。押し続ける(約1秒間)と、早送り/早戻しをします。(CD/MDデッキ/チェンジャーモード時)
 - 選局します。(ラジオ/TVモード時)
- 音質を調整する**
オーディオモードボタン
- 音質・バランス/フェダーを調整します。
 - 押し続ける(約1秒間)とディスプレイ表示を消灯します。
- 各種設定を変更する**
アジャストボタン
- 各種設定や調整をするときに使います。
 - 押し続ける(約1秒間)とタイトル表示をスクロールします。
- 各種設定を変更する**
▲▼◀▶ カーソルボタン
- アジャストモードの項目を選択・調整するときに使います。

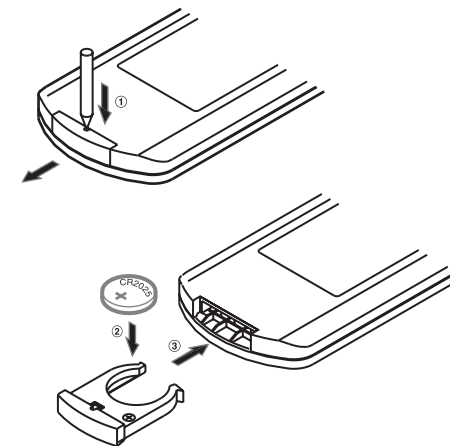


- 演奏を一時停止する**
▶/II (プレイ・ポーズ) ボタン
- 演奏を一時停止します。(CD/MDデッキ/チェンジャーモード時)
 - 各種設定の決定をします。
 - TVモード時に押すと、VTRに切り換えます。また、押し続ける(約1秒間)とステレオ/モノラル音声に切り換えます。

- 曲を探す**
1/スキャンボタン
- スキャン演奏します。(CD/MDデッキ/チェンジャーモード時)
 - 押し続ける(約1秒間)と、チェンジャー内の全ディスクの1曲目をディスクスキャン演奏します。(チェンジャーモード時)
 - グループスキャン演奏をします。(MDデッキモード/グループ編集MD再生時)
 - 解除するときは、もう一度スキャンボタンを押します。
- 繰り返し演奏する**
2/リピートボタン
- 繰り返し演奏します。(CD/MDデッキ/チェンジャーモード時)
 - 押し続ける(約1秒間)と、ディスクの繰り返し演奏をします。(チェンジャーモード時)
 - グループリピート演奏をします。(MDデッキモード/グループ編集MD再生時)
 - 解除するときは、もう一度リピートボタンを押します。
- ランダム演奏する**
3/ランダムボタン
- ランダム演奏します。(CD/MDデッキ/チェンジャーモード時)
 - 押し続ける(約1秒間)と、チェンジャー内の全ディスクをランダムに演奏します。(チェンジャーモード時)
 - グループランダム演奏をします。(MDデッキモード/グループ編集MD再生時)
 - 解除するときは、もう一度ランダムボタンを押します。
- ディスクを切り換える**
4,6/ディスク選択ボタン
- ディスクを切り換えます。(チェンジャーモード時)
 - グループを切り換えます。(MDデッキモード時)
- 放送局を呼出しする**
1~6/ダイレクトボタン
- 放送局をプリセットメモリーします。(ラジオ/TVモード時)
 - メモリーしている放送局を呼出します。(ラジオ/TVモード時)
- 表示を切り換える**
ディスプレイボタン
- ディスプレイ表示を切り換えます。
 - タイトル表示中に押し続ける(約1秒間)と、タイトル表示を切り換えます。

■電池の入れかた

- ① リモコンを裏返し、先のとがった物で、ふたを矢印の方向に押しながら引き出します。
- ② 電池(CR2025)を図のような向きにします。
- ③ 「カチッ」と音がするまで、ふたを押し込みます。



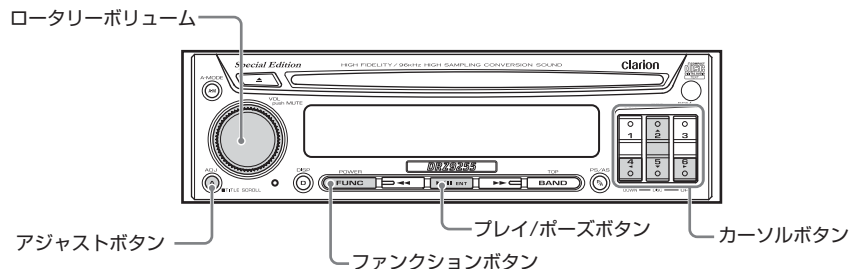
⚠ 警告

事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠ 注意

- 使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、ケガや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。
- ・指定電池以外は使用しない。
 - ・電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。
 - ・電池を加熱したり、火や水の中に入れない。また、分解しない。
 - ・使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。

基本の操作



電源を入れる

システムチェックについて…

本機は、結線を終えてから最初に電源を入れたときのみ接続機器の確認を行います。電源を入れたときディスプレイに「SYSTEM CHK」が表示されますので、ファンクションボタンを押してください。本機の内部で、システムチェックが始まります。システムチェックが終わると、「COMPLETED」が表示されますので、もう一度、ファンクションボタンを押してください。(詳しくは14ページをご覧ください。)

1 ファンクションボタンを押す



→ 前回の操作終了時のモードが表示されます。

ご注意

- ・バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、エンジンをかけた状態で行ってください。

■ 電源を切るときは…

ファンクションボタンを押し続けてください(約1秒間)。

モードを選ぶ

1 ファンクションボタンを押す



→ 押すたびに、次のように切り換わります。

ラジオ → CD → (MDデッキ) ↓
AUX ← (TV) ← (CDチェンジャー)

- ・接続していない機器のモードは表示されません。

音量を調節する

1 ロータリーボリュームを回す



ご注意

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

■ 音量を細かく調節するには…

ロータリーボリュームを押し続けて(約1秒間)からロータリーボリュームを回してください。

- ・音量が1dBステップから0.5dBステップに切り換わります。

時刻を合わせる

時計表示について…

本機は、車のエンジン作動時(ACC ON時)に時計を表示します。

時計は12時間表示です。

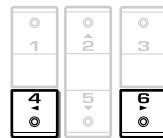
- ・ナビゲーション接続時は、時刻データがナビゲーションから送られてくるため、時刻の調整はできません。

1 アジャストボタンを押す



→ タイトル表示部に前回調整した項目「CLOCK」等を表示して、アジャストモードになります。

2 カーソルボタンの[◀]または[▶]を押して、「CLOCK」を選ぶ

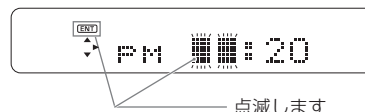


点滅します

3 プレイ/ポーズボタンを押す



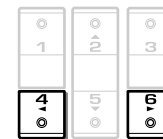
→ 調整時点(「PM 2:20」等)の時刻を表示し、時刻設定モードになります。



点滅します

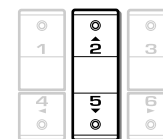
- ・時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻は調整されません。

4 カーソルボタンの[◀]または[▶]を押して、時または分を選ぶ



→ 点滅している項目が調整できます。

5 カーソルボタンの[▲]または[▼]を押して、時刻を合わせる



6 プレイ/ポーズボタンを押す



→ 「ピー」と鳴って、時刻が設定されます。

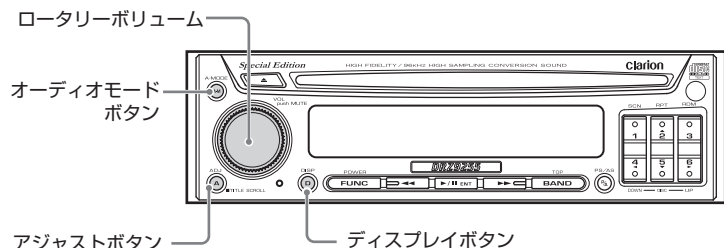
ご注意

- ・電源OFF状態での時間表示のときは、時計を設定することはできません。
- ・点検や修理などでバッテリーを外したときには、もう一度、時刻合わせをしてください。

7 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る



■ 基本の操作



表示を切り換える

1 ディスプレイボタンを押して、表示を選ぶ



→押すたびに、次のように切り換わります。

■ ディスプレイ表示を消すには…
オーディオモードボタンを押し続けてください。(約1秒間)

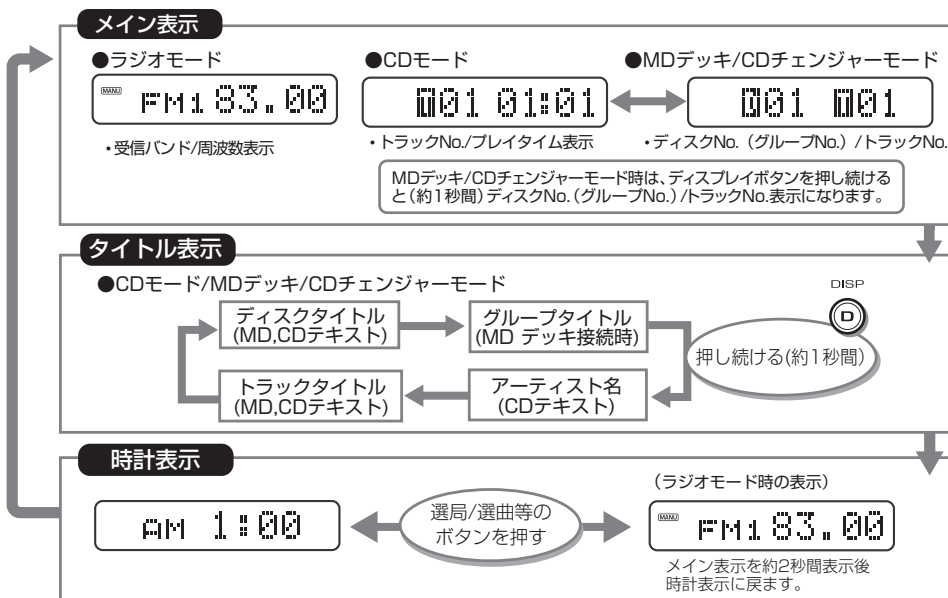
A-MODE



→ディスプレイ表示が消えます。

ご注意

- ディスプレイ消灯中のときは、イジェクトボタン、ファンクションボタン、ボリューム/ミュート操作以外は使用できません。元の状態に戻すには、もう一度、オーディオモードボタンを押し続けるか、ディスプレイボタンを押してください。また、電源OFFからONにした場合も、元の状態に戻ります。
- 電源OFF状態で時計を表示させたいときは、ディスプレイボタンを押して、時計表示にしてから電源をOFFにしてください。



タイトル表示を切り換える

タイトル表示について…

CD/CDチェンジャーモードにおけるCDテキスト再生時、MDデッキモードにおけるMD再生時に、ディスクに登録されているディスクタイトル、トラックタイトル、アーティスト名(CD テキストのみ)をディスプレイに表示します。MD デッキ再生時は、グループタイトルも表示します。

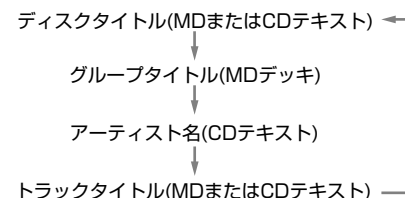
1 タイトルが表示されているときに、ディスプレイボタンを押し続ける(約1秒間)

DISP



→押すたびに、次のように切り換わります。

● CDモード、MDデッキ、CDチェンジャーモード



- CDテキスト対応でないCDの場合は、
ディスクタイトル : **D** NO TITLE
アーティスト名 : **A** NO TITLE
トラックタイトル : **T** NO TITLE
と表示されます。
- タイトルが入力されていないMDの場合は、
ディスクタイトル : **D** NO TITLE
グループタイトル : **G** NO TITLE
トラックタイトル : **T** NO TITLE
と表示されます。

タイトルをスクロールさせる

タイトルスクロールについて…

CD/CDチェンジャーモードにおけるCDテキスト再生時、MDデッキモードにおけるMD再生時に、ディスクに登録されているタイトルがスクロールできます。

1 タイトルが表示されているときに、アジャストボタンを押し続ける(約1秒間)

ADJ



■ TITLE SCROLL

→タイトルが左にスクロールします。

■ タイトル表示例

タイトル名が AB CD EF GH XYZ の場合

- 最初の10文字表示状態

AB CD EF GH

- スクロール中

CD EF GH X

XYZ

*タイトルの末尾まで表示すると、最初の10文字表示に戻ります。

音を消す(ミュート)

1 ロータリーボリュームを押す

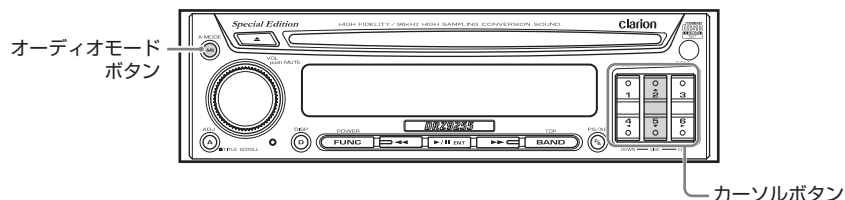


→ディスプレイに「MUTE」を点滅表示します。

■ 演奏を聴きたいときには…

もう一度、ロータリーボリュームを押してください。

■ 基本の操作



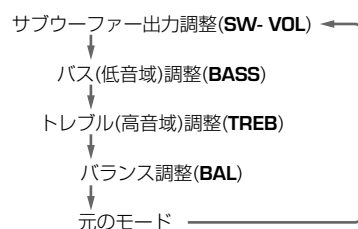
オーディオモードについて…

- アジャストモードの「MODE」の設定により、以下のように調整項目が変わります。設定のしかたは、「オーディオモードを選ぶ(MODE)」(31ページ)をご覧ください。

■ スタンダードモード(STD)



■ マルチモード(MULTI)



■ ダイレクトモード(DIRECT)



サブウーファー/ノンフェダー出力を調整する

この機能は、サブウーファーの設定が「ST」(ステレオ)または「MONO」(モノラル)のときに調整できます。設定のしかたは、「サブウーファー/ノンフェダーを設定する(SUB-WOOFER)」(43ページ)をご覧ください。

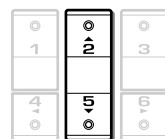
※初期設定は、「0」です。

1 オーディオモードボタンを押して、「SW-VOL」または「N-FAD VOL」を選ぶ



- オーディオモードがスタンダードまたはマルチモードのときは「SW-VOL」、マルチモードのときは「N-FAD VOL」を選びます。

2 カーソルボタンの[▲]または[▼]を押して出力を調整する



- 設定範囲は、±10dBです。0.5dBステップで調整できます。

3 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻る



音質を調整する(バス/トレブル)

バス/トレブルについて

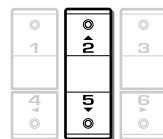
- アジャストモードの「EQ SELECT」を「BASS/TREB」に設定したときに調整することができます。設定のしかたは、「イコライザーモードを選ぶ(EQ SELECT)」(42ページ)をご覧ください。
- オーディオモードがダイレクトモードのときは調整できません。

※初期設定は、「0」です。

1 オーディオモードボタンを押して、調整項目「BASS/TREB」等を選ぶ



2 カーソルボタンの[▲]または[▼]を押して調整する



- BASS(低音域)/TREBLE(高音域)調整範囲は、±12dBです。1dBステップで調整できます。

3 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻る



バランス/フェダーを調整する

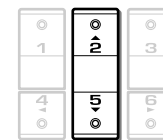
バランス/フェダーについて…

- BALANCE(バランス)
左右のスピーカー音量の割合を調整します。
- FADER(フェダー)
前後のスピーカー音量の割合を調整します。
- ※初期設定は、BALANCE、FADERは「0」です。

1 オーディオモードボタンを押して、「BAL」または「FADER」を選ぶ



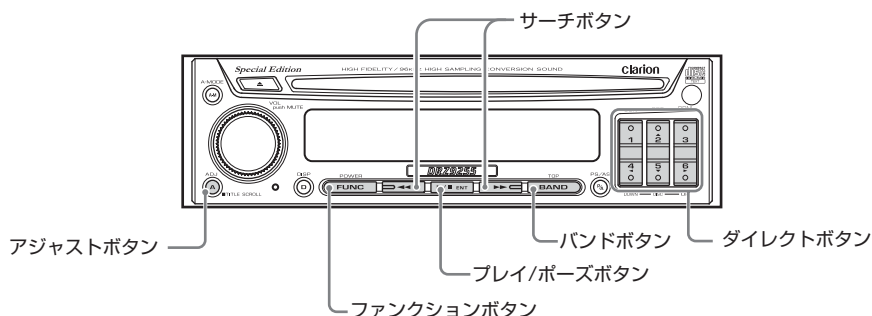
2 カーソルボタンの[▲]または[▼]を押して調整する



- 調整範囲は、L13 ~ R13です。
- 調整範囲は、F12 ~ R12です。

3 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻る





ラジオモードを選ぶ

- 1 ファンクションボタンを押して、ラジオモードを選ぶ



→押すたびに、次のようにモードが切り換わります。

ラジオ → CD → (MDデッキ)
↑
AUX → (TV) → (CDチェンジャー)

- 接続していない機器のモードは表示されません。

受信バンドを切り換える

- 1 バンドボタンを押して、受信バンドを切り換える



→押すたびに、バンドが切り換わります。

FM1 → FM2 → AM1 → AM2

自動選局する(シーク選局)

- 1 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイの「MANU」が消灯すると、自動選局ができます。

- 2 サーチボタンの[◀◀]または[▶▶]を押す



→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

- 1 「MANU」が消灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局ができます。

- 2 サーチボタンの[◀◀]または[▶▶]を押して、放送のあるところに合わせる



→手動選局には、ステップ選局とクイック選局があります。

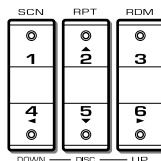
- ステップ選局のときは、サーチボタンを押すと、周波数が1ステップずつ切り換わります。
- クイック選局のときは、サーチボタンを押し続けると、周波数が連続して切り換わり、好みの周波数に合わせることができます。

プリセット選局する

プリセット選局について…

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

- 1 ダイレクトボタン(1～6)を押して、聴きたい放送局を選ぶ



ご注意

- ダイレクトボタンを押し続け(約2秒間)ないでください。押し続けるとプリセットメモリーとなり、受信中の放送局をメモリーします。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて…

プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2各6局、合計で24局です。

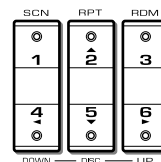
- 1 バンドボタンを押して、メモリーしたい受信バンドを選ぶ



- 2 サーチボタンの[◀◀]または[▶▶]を押して、メモリーしたい放送局を選ぶ

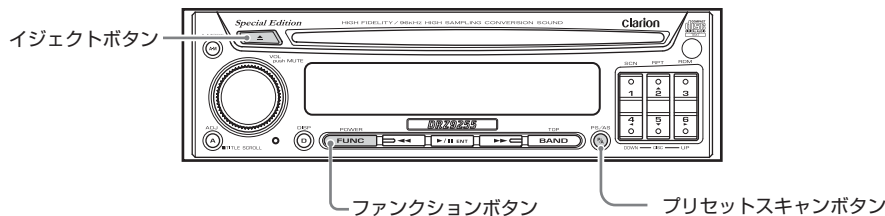


- 3 メモリーさせたいダイレクトボタン(1～6)を押し続ける(約2秒間)



→押し続けると「ピー」と鳴り、その時、押したダイレクトボタンに登録されます。

ラジオを聴く



自動メモリーする (オートストア機能)

オートストア機能について

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

1 プリセットスキャンボタンを押し続ける(約2秒間)

PS/AS



→タイトル表示部に「**AUTO STORE**」を表示し、自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。

自動的に、受信感度の良い放送局がダイレクトボタン(1~6)に登録されていきます。

ご注意

- 自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- 登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。

放送を確かめる (プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて…

プリセットスキャンは、ダイレクトボタンにメモリーされている放送局を順に受信します。

1 プリセットスキャンボタンを押す

PS/AS



→タイトル表示部に「**PRESET SCN**」を表示しプリセットスキャン動作中のプリセットNo.を表示します。

- メモリーしている放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

ご注意

- プリセットスキャンボタンを押し続けると(約2秒間)、オートストア機能になります。ご注意ください。

■プリセットスキャンを解除するには…

もう一度、プリセットスキャンボタンを押してください。

CDを聴く

ディスクを入れる

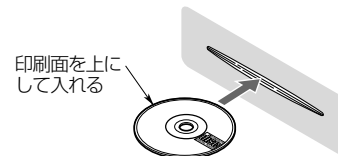
ディスク・イン・プレイ機能について…

本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーがONまたはACCであればディスクを入れると、自動的に電源が入り、再生をはじめます。

⚠ 注意

- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。また、異物を入れないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があるディスクは入れないでください。ディスクが取り出せなかったり、故障の原因となります。

1 ディスク挿入口にCDを入れる



→ディスクを入れると、自動的に演奏が始まります。

ご注意

- ディスクがスムーズに挿入口に入らない場合は、本機に他のディスクが入っているか、修理が必要な場合が考えられます。
- CD-RまたはCD-RWで記録されたディスクでも使用できない場合があります。

■シングルCD(8cmCD)について…

- シングルCDはアダプターを付けずにお使いください。
- シングルCDを入れるときは、ディスク挿入口の中央から入れてください。

ディスクを取り出す

バックアップイジェクト機能について…

本機の電源が入っていない状態からでもイジェクトボタンを押すと、ディスクを取り出すことができます。

1 イジェクトボタンを押す



→CDがイジェクトされます。

- イジェクトされたCDは、必ず取り出してください。CDをイジェクトしたままにしておくと、約15秒後に本機内に引き込まれポーズ状態になります。(オートリロード機能)
プレイ/ポーズボタンを押すと演奏が始まります。

- シングルCDの場合はオートリロードされませんので、イジェクトしたときには必ずシングルCDを取り出してください。

ご注意

- イジェクトしたままの状態から無理にディスクを押し込むと、ディスク表面にキズを付ける恐れがありますので、一度ディスクを取り出してから挿入してください。

すでに入っているディスクを聴く

1 ファンクションボタンを押して、CDモードを選ぶ

POWER

FUNC

→CDモードになると、自動的に演奏が始まります。

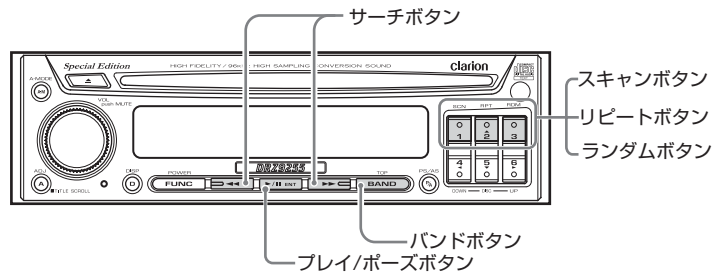
ディスクが入っていないときは、ディスプレイに「**NO DISC**」と表示します。

ラジオ → CD → (MDデッキ) ↓
AUX → (TV) → (CDチェンジャー)

- 接続していない機器のモードは表示されません。

■MDデッキ接続時の操作について…

本機にMDデッキを接続したときは、再生モードをMDデッキモードに切り換えることにより、CDと同様の操作でMDを聴くことができます。



曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、サーチボタンの **▶▶** を押す

2 前の曲を聴くときは、サーチボタンの **◀◀** を2回押す



→ **▶▶** を押すと、次の曲が演奏されます。
また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

→ **◀◀** を押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときにサーチボタンの **◀◀** を2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

演奏を止める(一時停止する)

1 プレイ/ポーズボタンを押す



→ ディスプレイに「**PAUSE**」を表示します。

■ 演奏を聴きたいときには...

もう一度、プレイ/ポーズボタンを押してください。

早送り/早戻しする

1 早送りするときは、サーチボタンの **▶▶** を押し続ける

2 早戻しするときは、サーチボタンの **◀◀** を押し続ける



最初の曲から聴く(トップ機能)

トップ機能について...

演奏しているディスクの最初の曲から演奏をはじめます。

1 バンドボタンを押す



→ 最初の曲(トラックNo.1)から演奏されます。

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について...

ディスクに収録されている全曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押す



→ ディスプレイの「**SCN**」が点灯し、ディスプレイに「**TRK SCAN**」を表示し、演奏している曲の次の曲からスキャン演奏をします。

■ スキャン演奏を解除するには...

もう一度、スキャンボタンを押してください。

→ ディスプレイの「**SCN**」が消灯し、通常の演奏になります。

1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

リピート演奏について...

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押す



→ ディスプレイの「**RPT**」が点灯し、ディスプレイに「**TRK REPEAT**」を表示して、リピート演奏をします。

■ リピート演奏を解除するには...

もう一度、リピートボタンを押してください。

→ ディスプレイの「**RPT**」が消灯し、通常の演奏になります。

ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ランダム演奏について...

ディスクに収録されている曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押す



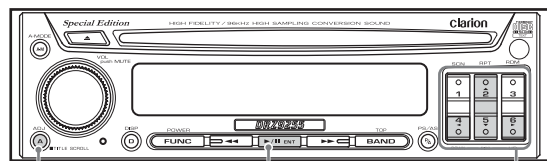
→ ディスプレイの「**RDM**」が点灯し、ディスプレイに「**TRK RANDOM**」を表示して、ランダム演奏をします。

■ ランダム演奏を解除するには...

もう一度、ランダムボタンを押してください。

→ ディスプレイの「**RDM**」が消灯し、通常の演奏になります。

設定を変更する(アジャストモード)



アジャストボタン

プレイ/ポーズボタン

カーソルボタン

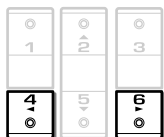
設定項目を選ぶ

1 アジャストボタンを押す



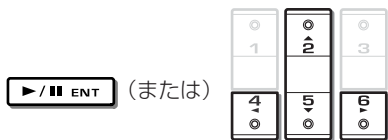
→タイトル表示部に前回調整した項目「CLOCK」等を表示して、アジャストモードになります。

2 カーソルボタンの[◀]または[▶]を押して、設定する項目を選ぶ



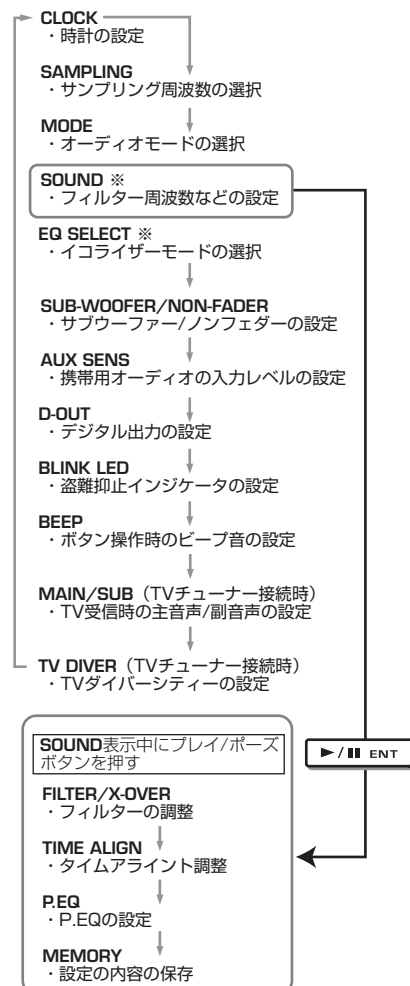
・押すたびに、設定項目が右図のように切り換わります。

3 プレイ/ポーズボタンを押して、調整内容を表示させて選ぶ。またはカーソルボタンの[▲][▼][◀][▶]を押して、設定する。



■元のモードに戻すには…

設定終了後に、アジャストボタンを押してください。



※ MODEの選択をダイレクトモードにすると、この項目は表示しません。

サンプリング周波数を選択する (SAMPLING)

サンプリング周波数について…

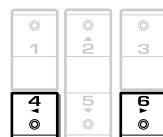
96kHzと48kHzを切り換えることができます。サンプリング周波数を96kHzにすると、高域の伸び、音の奥行き、音の透明感が向上します。

※初期設定は、「fs=96kHz」です。

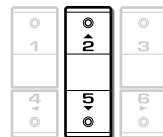
1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



2 カーソルボタンの[◀]または[▶]を押して「SAMPLING」を選ぶ



3 カーソルボタンの[▲]または[▼]を押して、「fs=96kHz」または「NORMAL」(fs=48kHz)を選ぶ



4 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る



オーディオモードを選ぶ (MODE)

スタンダードモード(STANDARD)
マルチモード(MULTI)

さまざまな音質調整を行って再生するときを選択します。

ダイレクトモード(DIRECT)

本機による音質調整をせずに原音のまま再生するときを選択します。

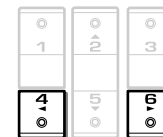
※ 初期設定は「STANDARD」です。

・ 詳しくは、「4WAYクロスオーバーネットワークについて」(32ページ)をご覧ください。

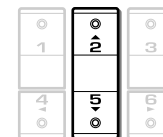
1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



2 カーソルボタンの[◀]または[▶]を押して「MODE」を選ぶ



3 カーソルボタンの[▲]または[▼]を押して、「STANDARD」、「DIRECT」、または「MULTI」を選ぶ



4 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る



■設定を変更する(アジャストモード)

4WAYクロスオーバーネットワークについて

■4WAYクロスオーバーネットワーク

本機には、マルチスピーカー構築時に、欠かすことのできない4WAYクロスオーバーネットワークを搭載しています。各帯域を独立して出力することによりスピーカーのポテンシャルを最大限に引き出し最適な音響チューニングが可能です。

■スタンダードモード/マルチモードについて…

スタンダードモードとマルチモードは、スピーカー構成によって使い分けれます。また、各種音質調整が可能です。

- ・スタンダードモード: **FRONT** (2ch) + **FRONT** (2ch) + **REAR** (2ch) + **SUB-W** (2ch)
- ・マルチモード: **HIGH** (2ch) + **MID** (2ch) + **LOW** (2ch) + **SUB-W** (2ch)
- ・各スピーカーごとにフィルター(ハイパスフィルター、ローパスフィルター)周波数の設定が可能です。
- ・TIME ALIGN(タイムアライメント)によるポジションの設定が可能です。
- ・P.EQ(パラメトリックイコライザー)またはBASS/TREB(バス/トレブル)による音質調整が可能です。

■ダイレクトモードについて…

音質劣化を最小限に抑えるため、DSP回路をスルーすることにより、より原音に忠実な再生が可能です。

- ・スピーカーシステムの構成: フロント(2ch) + リア(2ch) + ノンフェーダー(2ch)
- ・フィルター調整、ポジション調整、P.EQ、BASS/TREBによる音質調整はできません。

■フィルター調整について…

各スピーカーごとに、以下の調整内容を設定してください。

- ① フィルター周波数(fc) ② フィルタースロープ(SLP) ③ ゲイン(G) ④ 位相(PHASE)

① フィルター周波数(fc)について…

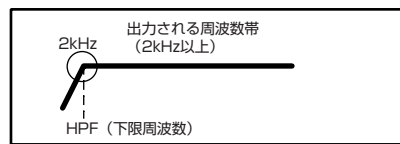
各スピーカーの再生周波数帯域に合わせて、フィルター(ハイパスフィルター、ローパスフィルター)周波数を設定します。(各スピーカーの再生周波数帯域を必ず確認してください。)

ハイパスフィルター(HPF)では、各スピーカーで再生する下限周波数を設定し、ローパスフィルター(LPF)では、上限周波数を設定します。

フィルターを「THROUGH」に設定した場合は、そのフィルターが無効になり、すべての周波数が再生されます。

●フィルター周波数(fc)設定例

HPFを「2kHz」、LPFを「THROUGH」に設定した場合、出力される周波数帯域は、2kHz以上となります。



HPFを「2kHz」、LPFを「20kHz」に設定した場合、出力される周波数帯域は、2kHz～20kHzとなります。



HPFを「THROUGH」、LPFを「20kHz」に設定した場合、出力される周波数帯域は、20kHz以下となります。

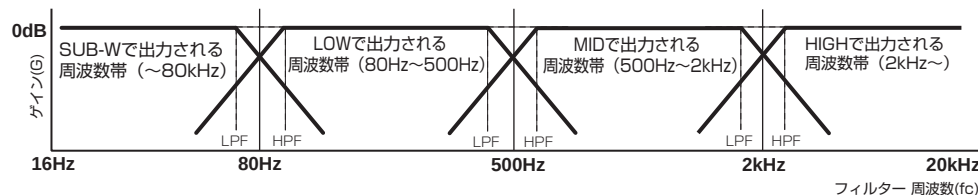


●フィルター周波数(fc)設定値

設定できるフィルター周波数の範囲はスピーカーによって異なり、周波数は本機に設定されている値(1/3オクターブステップ)から選択します。

	スピーカー	HPF (下限周波数)	LPF (上限周波数)
スタンダードモード	FRONT	315Hz～20kHz (初期設定は 2kHz)	— (THROUGH:固定)
	FRONT	— (THROUGH:固定)	250Hz～20kHz、THROUGH (初期設定は 2kHz)
	REAR	THROUGH、25Hz～250Hz (初期設定は THROUGH)	— (THROUGH:固定)
	SUB-W	THROUGH、16Hz～80Hz (初期設定は THROUGH)	25Hz～250Hz、THROUGH (初期設定は 80Hz)
マルチモード	HIGH	315Hz～20kHz (初期設定は 2kHz)	— (THROUGH:固定)
	MID	THROUGH、200Hz～10kHz (初期設定は 500Hz)	250kHz～20kHz、THROUGH (初期設定は 2kHz)
	LOW	THROUGH、25Hz～250Hz (初期設定は 80Hz)	250Hz～10kHz、THROUGH (初期設定は 500Hz)
	SUB-W	THROUGH、16Hz～80Hz (初期設定は THROUGH)	25Hz～250Hz、THROUGH (初期設定は 80Hz)

マルチモードの初期設定を図で表すと、以下のようになります。

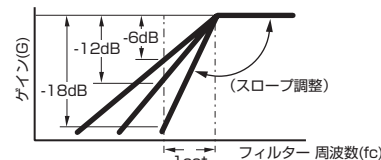


② フィルタースロープ(SLP)について…

初期設定は「-12dB/oct」です。

フィルター(HPF、LPF)ごとに、スロープ(減衰特性)を調整します。数値が小さい程、スロープ(傾き)が鋭角になり、帯域間の交わりがなくなり帯域別の再生が可能となりますが、各スピーカー間のつながりが悪くなり歪みが発生する場合もありますので、音を聴きながら「-6dB/oct」、「-12dB/oct」、「-18dB/oct」に切り換えて自然に聴こえる設定値を選択してください。

フィルタースロープ調整時の特性

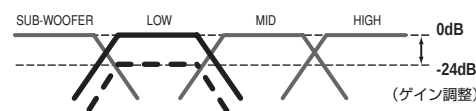


③ ゲイン(G)について…

初期設定は「0dB」です。

各スピーカーのバランスが均一になるように、出力レベルを調整してください。調整範囲は、0dB～-24dBです。

ゲイン調整時の特性



④ 位相(PHASE)について…

初期設定は「NOR」(正相)です。

「NOR」(正相)と「REV」(逆相)を切り換えて、自然に聴こえる方を選択してください。

■設定を変更する(アジャストモード)

フィルターを調整する(FILTER/X-OVER)

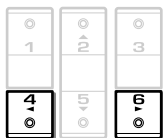
各スピーカーの特性に合わせて、フィルターを調整することができます。

- オーディオモードがダイレクトモードのときは選択できません。

1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



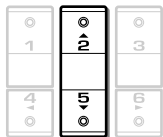
2 カーソルボタンの[◀]または[▶]を押して「SOUND」を選ぶ



3 プレイ/ポーズボタンを押す

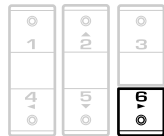


4 カーソルボタンの[▲]または[▼]を押して、「FILTER」または「X-OVER」を選ぶ

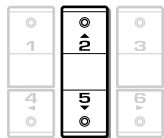


- オーディオモードがスタンダードモードのときは「FILTER」、マルチモードのときは「X-OVER」を選びます。

5 カーソルボタンの[▶]を押す



6 カーソルボタンの[▲]または[▼]を押して、調整するスピーカーを選ぶ



◀ SUB-W

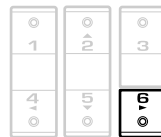
- スピーカー選択中にロータリーボリュームを押すと、選択したスピーカーのミュート(消音)機能をON/OFFできます。

→押すたびに、次のように切り換わります。

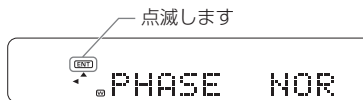
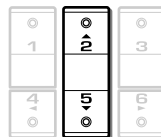
:スタンダードモード :マルチモード



7 カーソルボタンの[▶]を押す



8 カーソルボタンの[▲]または[▼]を押して、スピーカーの調整項目を選ぶ

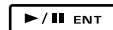


→押すたびに、調整項目が切り換わります。

fc LPF
(ローパスフィルターのフィルター周波数) ※
↓
SLP LPF
(ローパスフィルターのフィルタースロープ) ※
↓
fc HPF
(ハイパスフィルターのフィルター周波数) ※
↓
SLP HPF
(ハイパスフィルターのフィルタースロープ) ※
↓
G (ゲイン) (0dB～-24dB)
↓
PHASE (位相)

※選択したスピーカーによって、表示されない場合があります。

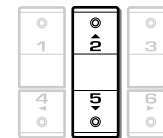
9 プレイ/ポーズボタンを押す



→設定値が点滅します。



10 カーソルボタンの[▲]または[▼]を押して、調整する

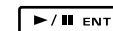


- 各調整項目の調整範囲については、「フィルター調整について」(32ページ)をご覧ください。

ご注意

- ツイーターに低域信号を入力しすぎると故障の原因となります。
- リセット操作に備えて、「SOUND設定メモ」(66ページ)にご記入をおすすめします。

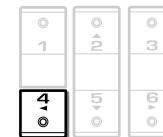
11 調整が終わったら、プレイ/ポーズボタンを押す



→設定値が確定します。

12 手順8～11を繰り返して、選択したスピーカーの各調整項目を調整する

13 調整が終わったら、カーソルボタンの[◀]を押して手順6に戻る



14 手順6～13を繰り返して、各スピーカーのフィルターを調整する

15 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る

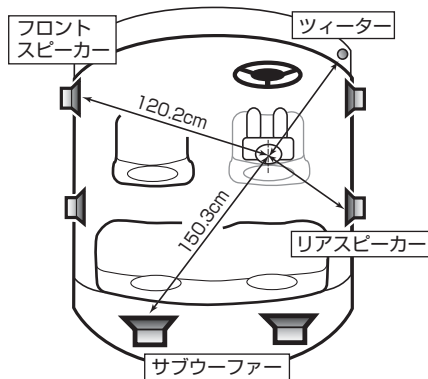


設定を変更する(アジャストモード)

ポジションを調整する(TIME ALIGN)

タイムアライメント機能について...
車室内では、各スピーカーからリスナーまでの間にそれぞれ距離差があるため、音が到達するまでの時間に誤差を生じます。各スピーカーからリスナー(頭の中心)までの距離を設定することで、距離差が補正され同時に音が到達できるようになり、正確な音像定位、位相を得ることができます。

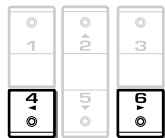
- オーディオモードがダイレクトモードのときは選択できません。



1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



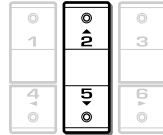
2 カーソルボタンの[◀]または[▶]を押して「SOUND」を選ぶ



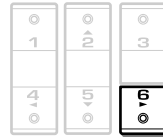
3 プレイ/ポーズボタンを押す



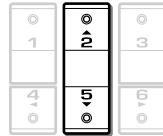
4 カーソルボタンの[▲]または[▼]を押して、「TIME ALIGN」を選ぶ



5 カーソルボタンの[▶]を押す



6 カーソルボタンの[▲]または[▼]を押して、調整するスピーカーを選ぶ



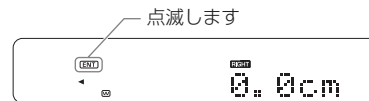
- スピーカー選択中にロータリーボリュームを押すと、選択したスピーカーのミュート(消音)機能をON/OFFできます。

→押すたびに、次のように切り換わります。

:スタンダードモード :マルチモード



7 カーソルボタンの[▶]を押す



- 設定値が表示されます。

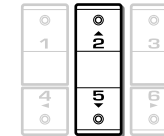
8 プレイ/ポーズボタンを押す



→設定値が点滅します。



9 カーソルボタンの[▲]または[▼]を押して、スピーカーからリスナーまでの距離を設定する



- 調整範囲は0cm~512.4cm(約0.7cmステップ)です。詳しくは、「タイムアライメントリスト」(64ページ)をご覧ください。
- カーソルボタンの[▲]または[▼]を押し続ける(3秒以上)と、約7cmステップで調整できます。

ご注意

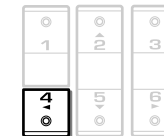
- リセット操作に備えて、「SOUND設定メモ」(66ページ)にご記入をおすすめします。

10 調整が終わったら、プレイ/ポーズボタンを押す



→設定値が確定します。

11 カーソルボタンの[◀]を押して手順6に戻る



12 手順6~11を繰り返して各スピーカーのポジションを調整する

13 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る



■設定を変更する(アジャストモード)

P.EQを調整する(P.EQ)

P.EQ(Parametric Equalizer)について…

左右独立5バンドP.EQによって音質を調整できます。車種に合わせた周波数補正により、周波数レベル全域をなめらかなカーブで補正することができます。

※初期設定は「P.EQ OFF」です。

- オーディオモードがダイレクトモードのときは選択できません。
- また、イコライザーモードの設定が「BASS/TREB」のときは、選択できません。

■P.EQの調整について…

P.EQメニューの調整内容は、以下の通りです。

•チャンネルの選択(LEFT/RIGHT)

調整するチャンネル(左または右)を選びます。

•バンドの選択(BAND)

調整する周波数バンド(1～5)を選びます。

•中心周波数の選択(f₀)

補正したい中心となる周波数を選びます。

バンド1～3: 50Hz～20kHzの範囲から選択
(1/3オクターブステップ、27ポイント)

バンド4～5: 630Hz～20kHzの範囲から選択
(1/3オクターブステップ、16ポイント)

•ゲインの調整(GAIN)

ゲイン(出力レベル)を-12dB～+12dBの範囲で調整します。

(0.5dBステップ、49ポイント)

•Qカーブの選択(Q)

Qカーブの鋭さを0.5～12.0の範囲から選びます。

(0.5ステップ、24ポイント)

•調整値のコピー(COPY)

調整中のチャンネル設定を、もう片方のチャンネルにコピーするかを選択します。

1 プレイ/ポーズボタンを1回押すと、コピー確認の画面が表示されます。



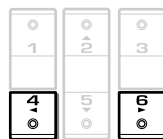
※上の図では、L:調整中のチャンネル、R:未調整のチャンネルを表します。

2 プレイ/ポーズボタンを押し続けると設定がコピーされ、前の画面に戻ります。
設定をコピーせずに前の画面に戻る場合は、プレイ/ポーズボタンを1回押します。

1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



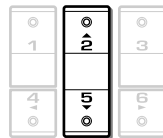
2 カーソルボタンの[◀]または[▶]を押して「SOUND」を選ぶ



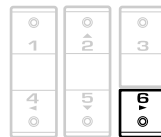
3 プレイ/ポーズボタンを押す



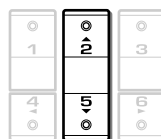
4 カーソルボタンの[▲]または[▼]を押して、「P.EQ」を選ぶ



5 カーソルボタンの[▶]を押す



6 カーソルボタンの[▲]または[▼]を押して、調整項目を選ぶ



- ロータリーボリュームを押すと、選択中のチャンネル(L/R)のミュート(消音)機能をON/OFFできます。

→押すたびに、次のように切り換わります。

P.EQ ON/OFF: オン/オフ

P.EQ LEFT/RIGHT:
左チャンネル/右チャンネル

BAND: バンド (1～5)

f₀: 周波数 (BAND 1,2,3: 50Hz～20kHz)
(BAND 4,5: 630Hz～20kHz)

G: ゲイン (-12dB～+12dB)

Q: Qカーブ (0.5～12.0)

COPY: 設定コピー

ご注意

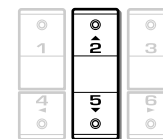
- P.EQ効果を反映させる場合は、P.EQの設定を「ON」にしてください。

7 プレイ/ポーズボタンを押す



→設定値が点滅します。

8 カーソルボタンの[▲]または[▼]を押して、調整する



ご注意

- リセット操作に備えて、「SOUND設定メモ」(66ページ)にご記入をおすすめします。

9 調整が終わったら、プレイ/ポーズボタンを押す



→設定値が確定します。

10 手順6～9を繰り返して各調整項目を調整する

11 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る



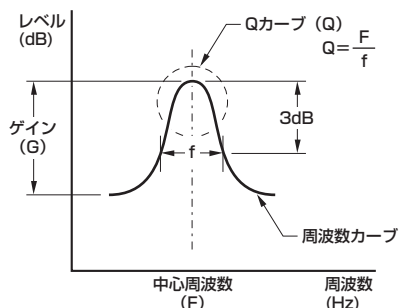
■設定を変更する(アジャストモード)

■補正について…

周波数特性を測定器で測ったときに、周波数特性が平坦(周波数特性に山や谷が無い状態)であれば、補正の必要はありませんが、周波数特性が部分的に持ち上がっていることや、下がっていることがあります。このようなときに、部分的に持ち上がったり、下がったりしている部分の中心周波数に合わせて、逆の特性の周波数カーブをつくります。こうすることで周波数特性が補正され、平坦な周波数特性をつくりだすことができます。このように、周波数特性をできるだけ平坦にすることが補正です。

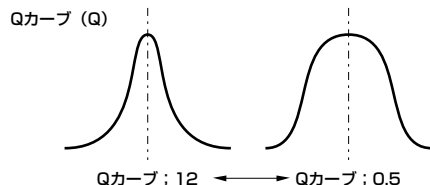
●周波数特性の補正について…

中心周波数、ゲイン、Qカーブの関係は、下図をご覧ください。



●Qカーブについて…

Qカーブは、数値を大きく設定すると鋭く、数値を小さく設定すると緩やかなカーブになります。補正したい周波数カーブと逆のQカーブを選ぶことで、平坦な周波数特性をつくりだすことができます。



fo: 中心周波数、G: ゲイン (出力レベル)、Q: Qカーブ

バンド	パラメトリックイコライザーパラメーター					
	左チャンネル			右チャンネル		
	fo	G	Q	fo	G	Q
バンド1	50Hz	0dB	1	50Hz	0dB	1
バンド2	160Hz	0dB	1	160Hz	0dB	1
バンド3	500Hz	0dB	1	500Hz	0dB	1
バンド4	2kHz	0dB	1	2kHz	0dB	1
バンド5	8kHz	0dB	1	8kHz	0dB	1

バンド1～3: 50Hz～20kHzの範囲から選択
バンド4,5: 630Hz～20kHzの範囲から選択

フィルター設定/タイムアライメント設定/P.EQ設定を保存する(MEMORY)

ユーザーメモリーについて…

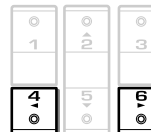
ご自分の車に合わせて調整した設定内容を、スタンダードモードとマルチモードでそれぞれ3種類まで保存できます。

- オーディオモードがダイレクトモードのときは選択できません。
- イコライザーモードの設定が「BASS/TREB」のときは、P.EQ設定は保存されません。

1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



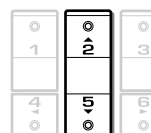
2 カーソルボタンの[◀]または[▶]を押して「SOUND」を選ぶ



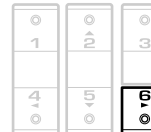
3 プレイ/ポーズボタンを押す



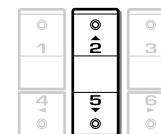
4 カーソルボタンの[▲]または[▼]を押して、「MEMORY」を選ぶ



5 カーソルボタンの[▶]を押す

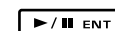


6 カーソルボタンの[▲]または[▼]を押して、「MEMORY 1」、「MEMORY 2」、「MEMORY 3」、または「DEFAULT」を選ぶ



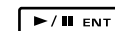
- 「DEFAULT」は、初期設定が登録されています。呼び出すことはできますが、別の設定は登録できません。

7 プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約1秒間)



→「SAVE?」と表示されます。

8 もう一度、プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約1秒間)



→「ピー」と鳴って、フィルター設定/タイムアライメント設定/P.EQ設定が、手順6で選択したメモリー(1～3)に保存されます。

9 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る



■保存した設定内容を読み出すには…

手順7でプレイ/ポーズボタンを短押し、「LOAD?」と表示されたらもう一度、プレイ/ポーズボタンを押し続けます。(約1秒間)

「ピー」と鳴って設定内容が呼び出されます。アジャストボタンを押して、元のモードに戻ってください。

- イコライザーモードの設定が「BASS/TREB」のときは、呼び出したP.EQ設定は、イコライザーモードの設定を「P.EQ」に変更したときに反映されます。

■設定を変更する(アジャストモード)

イコライザーモードを選ぶ(EQ SELECT)

パラメトリックイコライザーモード(P.EQ)

左右独立5バンドP.EQによって音質を調整できます。P.EQの調整について詳しくは、「P.EQを調整する」(38ページ)をご覧ください。

バス/トレブルモード(BASS/TREB)

バス/トレブルによって音質を調整できます。バス/トレブルの調整について詳しくは、「音質を調整する(バス/トレブル)」(23ページ)をご覧ください。

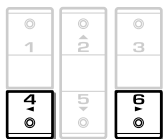
※初期設定は「P.EQ」です。

- オーディオモードがダイレクトモードのときは選択できません。

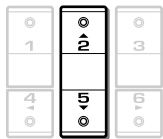
1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



2 カーソルボタンの[◀]または[▶]を押して「EQ SELECT」を選ぶ



3 カーソルボタンの[▲]または[▼]を押して、「P.EQ」または「BASS/TREB」を選ぶ



4 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る



サブウーファー/ノンフェダーを設定する(SUB-WOOFER/NON-FADER)

サブウーファー/ノンフェダーについて…

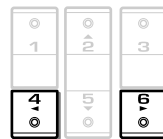
サブウーファー/ノンフェダーを接続したときは、「ST」(ステレオ)または「MONO」(モノラル)に設定してください。OFFの場合は、出力されません。

※初期設定は、「ST」です。

1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする

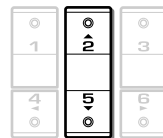


2 カーソルボタンの[◀]または[▶]を押して「SUB-WOOFER」または「NON-FADER」を選ぶ



- オーディオモードがスタンダードモードまたはマルチモードのときは「SUB-WOOFER」、ダイレクトモードのときは「NON-FADER」を選びます。

3 カーソルボタンの[▲]または[▼]を押して、「ST」(ステレオ)、「MONO」(モノラル)、または「OFF」を選ぶ



4 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る



■サブウーファー/ノンフェダー出力を調整するには…

「サブウーファー/ノンフェダー出力を調整する」(22ページ)をご覧ください。

■設定を変更する(アジャストモード)

携帯用オーディオの入力レベルを設定する(AUX SENS)

AUX入力について…

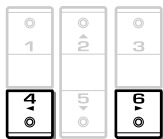
本機にはAUX入力は2系統あり、それぞれに接続された市販の携帯用オーディオの入力レベルを設定することができます。

※ 初期設定は、「MID」です。

- 1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



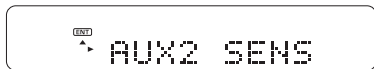
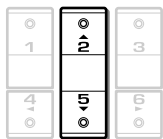
- 2 カーソルボタンの[◀]または[▶]を押して「AUX SENS」を選ぶ



- 3 プレイ/ポーズボタンを押す



- 4 カーソルボタンの[▲]または[▼]を押して、入力系統を選ぶ



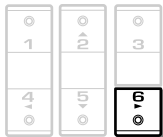
→押すたびに、次のように切り換わります。

AUX1 SENS : 入力系統1

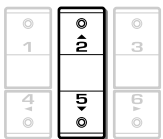


AUX2 SENS : 入力系統2

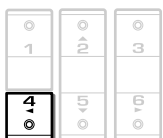
- 5 カーソルボタンの[▶]を押す



- 6 カーソルボタンの[▲]または[▼]を押して、「HIGH」、「MID」、または「LOW」を選ぶ



- 7 選択したら、カーソルボタンの[◀]を押して手順4に戻る



- 8 手順4～7を繰り返して各入力系統の入力レベルを設定する

- 9 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る



デジタルアウトを設定する(D-OUT)

デジタル出力について…

本機のデジタル入・出力端子をデジタル出力として使用する場合は、ONに設定してください。OFFの場合は、出力されません。

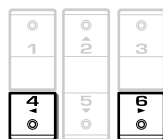
※ 初期設定は、「OFF」です。

- CDチェンジャーをデジタル結線した場合は、この設定はできません。(システムチェック後、デジタル入力固定となります。)

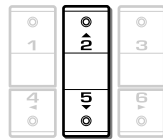
- 1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



- 2 カーソルボタンの[◀]または[▶]を押して「D-OUT」を選ぶ



- 3 カーソルボタンの[▲]または[▼]を押して、「ON」または「OFF」を選ぶ



- 4 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る



盗難抑止インジケータの設定(BLINK LED)

ブリンクングLEDについて…

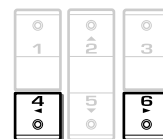
ACC OFF時にダイレクトボタン6のインジケータを赤く点滅させ、視覚的效果による盗難抑止効果を発揮します。

※ 初期設定は、「OFF」です。

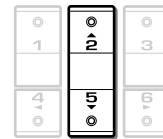
- 1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



- 2 カーソルボタンの[◀]または[▶]を押して、「BLINK LED」を選ぶ



- 3 カーソルボタンの[▲]または[▼]を押して、「ON」または「OFF」を選ぶ



- 4 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る



■設定を変更する(アジャストモード)

ボタン操作時のビープ音を設定する(BEEP)

ビープ音について…

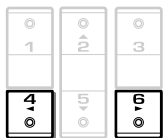
操作時になる「ピッ」という音をビープ音とします。本機は、この音が鳴らないように設定できます。

※初期設定は、「ON」です。

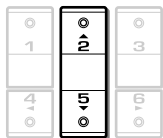
1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



2 カーソルボタンの[◀]または[▶]を押して、「BEEP」を選ぶ



3 カーソルボタンの[▲]または[▼]を押して、「ON」または「OFF」を選ぶ



4 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る



TV受信時の主音声/副音声を設定する(MAIN/SUB)

主音声(MAIN)/副音声(SUB)について……

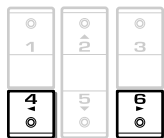
TV放送受信時の音声(主音声/副音声)を設定します。(TVチューナー接続時)

※初期設定は、「MAIN」です。

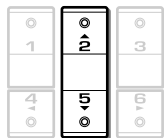
1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



2 カーソルボタンの[◀]または[▶]を押して、「MAIN/SUB」を選ぶ



3 カーソルボタンの[▲]または[▼]を押して、「MAIN」または「SUB」を選ぶ



4 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る



TVダイバーシティーを設定する(TV DIVER)

TVダイバーシティーについて…

TV放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。(TVチューナー接続時)

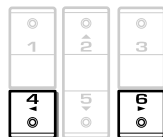
※初期設定は、「ON」です。

- TVダイバーシティアンテナを使用していないときはOFFに設定しなおしてください。

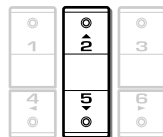
1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



2 カーソルボタンの[◀]または[▶]を押して、「TV DIVER」を選ぶ



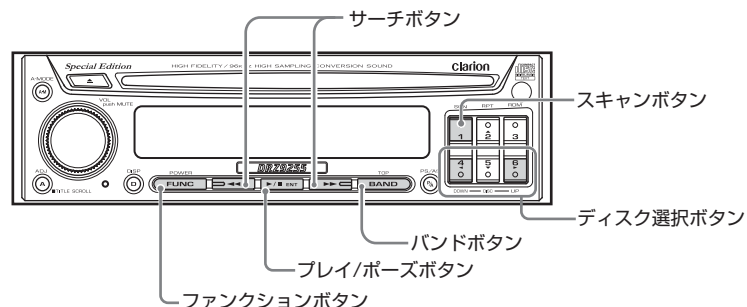
3 カーソルボタンの[▲]または[▼]を押して、「ON」または「OFF」を選ぶ



4 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る



CDチェンジャーを操作する



CDチェンジャーについて…

別販のCeNET 結線対応のCDチェンジャーを接続すると、本機でCDチェンジャーをコントロールすることができます。CeNET 結線対応のCDチェンジャーを合わせて2台まで接続できます。

2台のCDチェンジャーを接続したときは…

ファンクションボタンを押して、接続したチェンジャーを選択してください。(ファンクションボタンを押すたびに切り換わります。)

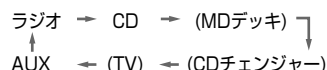
- CDチェンジャーにマガジンが入っていないときは「NO MAG」と表示されます。また、マガジン内にCDが入っていないときには、「NO DISC」と表示されます。
- タイトル表示については、「タイトル表示を切り換える」(21ページ)をご覧ください。

チェンジャーモードを選ぶ

- 1 ファンクションボタンを押して、チェンジャーモードを選ぶ



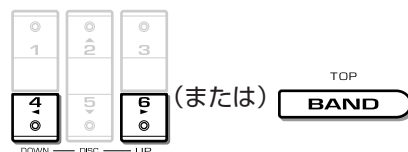
→チェンジャーモードになると、自動的に演奏がはじまります。



- 接続していない機器のモードは表示されません。

聴きたいディスクを選ぶ

- 1 ディスク選択ボタンまたはバンドボタンを押す



- マガジンにディスクが入っていない場合には、その番号は飛ばします。

曲を選ぶ

- 1 次の曲を聴くときは、サーチボタンの[▶▶]を押す

前の曲を聴くときは、サーチボタンの[◀◀]を2回押す



→[▶▶]を押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

- [◀◀]を1回押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。
- 曲の頭部分を演奏しているときにサーチボタンの[◀◀]を2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

早送り/早戻しする

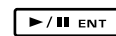
- 1 早送りするときは、サーチボタンの[▶▶]を押し続ける

早戻しするときは、サーチボタンの[◀◀]を押し続ける



演奏を止める(一時停止をする)

- 1 プレイ/ポーズボタンを押す



→「PAUSE」を表示して、演奏が止まります。

■ 続けて演奏を聴きたいときは…

もう一度、プレイ/ポーズボタンを押してください。

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について…

チェンジャー内のディスク全曲を約10秒間ずつ演奏します。

- 1 スキャンボタンを押す



→ディスプレイの「SCN」が点灯し、「TRK SCAN」を表示して、演奏している曲の次の曲からはじまります。

■ スキャン演奏を解除するには…

もう一度、スキャンボタンを押してください。
→ディスプレイの「SCN」が消灯し、通常の演奏になります。

聴きたいディスクを探す(ディスクスキャン演奏)

ディスクスキャン演奏について…

チェンジャー内の全ディスクの最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

- 1 スキャンボタンを押し続ける(約1秒間)

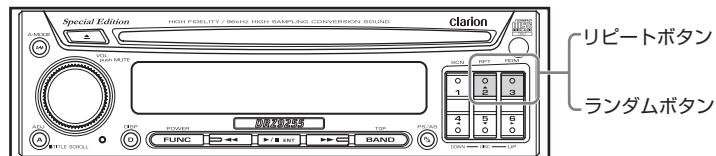


→ディスプレイの「DISC」と「SCN」が点灯し、「DSC SCAN」を表示して、演奏している曲の次のディスクからスキャン演奏します。

■ ディスクスキャン演奏を解除するには…

もう一度、スキャンボタンを押してください。
→ディスプレイの「DISC」と「SCN」が消灯し、通常の演奏になります。

CDチェンジャーを操作する



1曲を繰り返し聴く (リピート演奏)

リピート演奏について…
演奏中の曲を繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押す



→ディスプレイの「RPT」が点灯し、「TRK REPEAT」を表示して、リピート演奏をします。

■ リピート演奏を解除するには…

もう一度、リピートボタンを押してください。
→ディスプレイの「RPT」が消灯し、通常の演奏になります。

1枚のディスクを繰り返し聴く (ディスクリピート演奏)

ディスクリピート演奏について…
演奏中のディスクを繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイの「DISC」と「RPT」が点灯し、「DSC REPEAT」を表示して、ディスクリピート演奏をします。

■ ディスクリピート演奏を解除するには…

もう一度、リピートボタンを押してください。
→ディスプレイの「DISC」と「RPT」が消灯し、通常の演奏になります。

ランダムに演奏を聴く (ランダム演奏)

ランダム演奏について…
ディスクに収録されている曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押す



→ディスプレイの「RDM」が点灯し「TRK RANDOM」を表示して、ランダム演奏をします。

■ ランダム演奏を解除するには…

もう一度、ランダムボタンを押してください。
→ディスプレイの「RDM」が消灯し、通常の演奏になります。

全ディスクの演奏をランダムに 聴く(ディスクランダム演奏)

ディスクランダム演奏について…
チェンジャー内の全てのディスクの曲を順不同に演奏します。

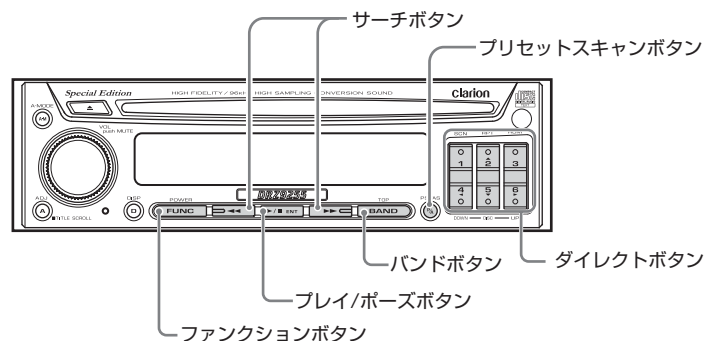
1 ランダムボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイの「DISC」と「RDM」が点灯し、「DSC RANDOM」を表示してディスクランダム演奏をします。

■ ディスクランダム演奏を解除するには…

もう一度、ランダムボタンを押してください。
→ディスプレイの「DISC」と「RDM」が消灯し、通常の演奏になります。



TVチューナーコントロール機能について…

別販のCeNET 結線対応のB.BTVチューナーを接続すると、本機でTVチューナーをコントロールできます。TVを見るためには、別販のTVチューナーとモニターが必要です。

警告

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車してください。

ご注意

ご使用になる前に、次の項目を確認して設定を変更してください。

- TVダイバーシティアンテナを使用しないときは、「TVダイバーシティを設定する」(47ページ)で、設定を「OFF」にしてください。

TVモードを選ぶ

- 1 ファンクションボタンを押して、TVモードを選ぶ



→押すたびに、次のようにモードが切り換わります。

ラジオ → CD → (MDデッキ) ↓
↑
AUX → (TV) → (CDチェンジャー)

- 接続していない機器のモードは表示されません。

受信バンドを切り換える

- 1 バンドボタンを押してTV 1 またはTV2を選ぶ



→押すたびに、バンドが切り換わります。

TV1 → TV2

自動選局する(シーク選局)

- 1 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイの「MANU」が消灯すると、自動選局ができます。

- 2 サーチボタンの[◀◀]または[▶▶]を押す



→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

- 1 「MANU」が消灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局ができます。

- 2 サーチボタンの[◀◀]または[▶▶]を押して、放送のあるところに合わせる

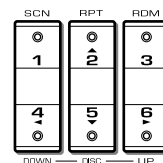


プリセット選局する

プリセット選局について…

あらかじめメモリーしてあるチャンネルを選局する機能です。

- 1 ダイレクトボタン(1～6)を押して、聴きたい放送局を選ぶ



ご注意

- ダイレクトボタンを押し続け(約2秒間)ないでください。押し続けるとプリセットメモリーとなり、受信中の放送局をメモリーします。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて…

プリセットメモリーできるのは、TV1、TV2 各6局、合計で12局です。

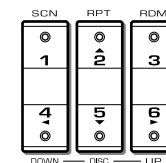
- 1 バンドボタンを押して、メモリーしたいバンド(TV1またはTV2)を選ぶ



- 2 サーチボタンの[◀◀]または[▶▶]を押して、メモリーしたい放送局を選ぶ



- 3 メモリーさせたいダイレクトボタン(1～6)を押し続ける(約2秒間)



→押し続けると「ピー」と鳴り、その時、押したダイレクトボタンに登録されます。

■テレビを見る

自動メモリーする (オートストア機能)

オートストア機能について

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

1 プリセットスキャンボタンを押し続ける(約2秒間)



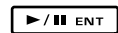
→ディスプレイに「**AUTO STORE**」を表示し、自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。
自動的に、受信感度の良い放送局がダイレクトボタン(1~6)に登録されていきます。

ご注意

- 自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- 登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。

■ステレオ/モノラル音声を切り換える

1 TVモード時にプレイ/ポーズボタンを押し続ける(約1秒間)



→押すたびに、ステレオ音声(**STEREO**)とモノラル音声(**MONO**)を切り換えます。

■主音声/副音声を切替えるには…

「TV受信時の主音声/副音声を設定する」(46ページ)をご覧ください。

放送を確かめる (プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて…

プリセットスキャンは、ダイレクトボタンにメモリーされている放送局を順に受信します。

1 プリセットスキャンボタンを押す



→ディスプレイに「**PRESET SCN**」を表示しプリセットスキャン動作中のプリセットNo.を表示します。

- メモリーしている放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局とはばして、次の放送局を受信します。

ご注意

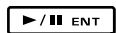
- プリセットスキャンボタンを押し続けると(約2秒間)、オートストア機能になります。ご注意ください。

■プリセットスキャンを解除するには…

もう一度、プリセットスキャンボタンを押してください。

■ビデオを見る

1 プレイ/ポーズボタンを押す



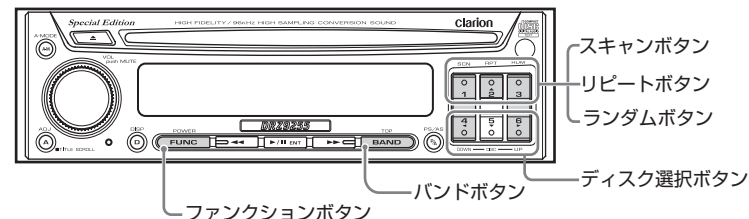
→ディスプレイに「**VTR**」を表示し、TVモードからVTRモードに切り換わります。

- TV画面がビデオ入力状態となり、ビデオを見ることができます。

■TVモードに戻すには…

もう一度、プレイ/ポーズボタンを押してください。

■MDデッキでグループ編集MDを聴く



この章では、グループ編集MD再生機能付デッキを接続したときのグループ機能に関連する操作および注意事項について説明します。
その他の基本的事項については、「CDを聴く」(27~29ページ)をご覧ください。

■グループ機能をON/OFFする

グループ機能について…

グループで編集されたMDを再生したときに、グループ別の再生が可能となり、チェンジャーのような感覚で操作することができます。

- 通常のMDでは、グループ機能のON/OFFはできません。

※初期設定は、「OFF」です。

1 ファンクションボタンを押して、MDデッキモードにする



FUNC

2 バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



→バンドボタンを押し続けるたびに、ON/OFFが切り換わります。
グループ機能をONに設定すると、ディスプレイに「**GRP ON**」を表示します。

■グループ編集MDを演奏する

グループ機能がONに設定されている場合には、ディスク情報の読み込み後、グループ順に演奏を始めます。

●グループ機能「ON」のとき

グループ順に演奏します。グループ化されていない曲(トラック)は最後にまとめて演奏します。

■グループの最初の曲を聴くには…

バンドボタンを押してください。



→演奏中のグループの最初の曲から演奏します。

■グループ内の曲をランダムに演奏するには…

ランダムボタンを押してください。



→演奏中のグループ内の曲を順不同に演奏します。

■グループタイトルに表示を切り換えるには…

ディスプレイボタンを押し続けて(約1秒間)ください。



→押し続けるたびに、ディスクタイトル→グループタイトル→トラックタイトルと切り換わります。グループ編集MDでない場合は、「**NO GROUP**」と表示します。

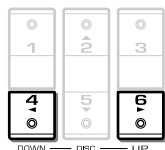
●グループ機能「OFF」のとき

通常のMDと同様に、トラックNo.の順に演奏します。

■MDデッキでグループ編集MDを聴く

グループを切り換える

1 ディスク選択ボタンを押す



→4(DN)を押したときは、前のグループに、6(UP)を押したときは、次のグループに移ります。

聴きたいグループを探す (グループスキャン演奏)

グループスキャン演奏について…

収録されている全グループの最初の曲を10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイの「DISC」と「SCN」が点灯し、「GRP SCAN」を表示して、演奏している曲の次のグループからスキャン演奏します。

■グループスキャン演奏を解除するには…

もう一度、スキャンボタンを押してください。

→ディスプレイの「DISC」と「SCN」が消灯し、通常の演奏になります。

1つのグループを繰り返し聴く (グループリピート演奏)

グループリピート演奏について…

演奏中のグループ内の曲を繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイの「DISC」と「RPT」が点灯し、「GRP PEPEAT」を表示して、グループリピート演奏をします。

■グループリピート演奏を解除するには…

もう一度、リピートボタンを押してください。

→ディスプレイの「DISC」と「RPT」が消灯し、通常の演奏になります。

全グループの演奏をランダムに聴く (グループランダム演奏)

グループランダム演奏について…

収録されている全てのグループの曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押し続ける(約1秒間)



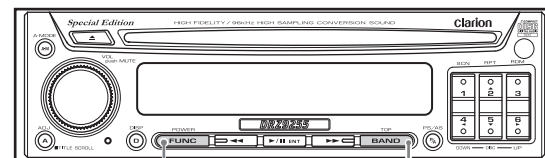
→ディスプレイの「DISC」と「RDM」が点灯し、「GRP RANDOM」を表示して、グループランダム演奏をします。

■グループランダム演奏を解除するには…

もう一度、ランダムボタンを押してください。

→ディスプレイの「DISC」と「RDM」が消灯し、通常の演奏になります。

■携帯用オーディオを聴く(AUXモード)



ファンクションボタン

バンドボタン

AUXモードに切り換える

AUXモードについて…

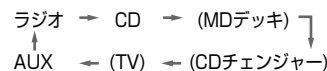
本機に市販の携帯用オーディオなどを接続して音楽ソースを聴くことができます。

別販のCeNET 結線対応AUX入力ユニット(EA-1155A)は接続できません。

1 ファンクションボタンを押して、AUXモードを選ぶ



→押すたびに、次のように切り換わります。



- 接続していない機器のモードは表示されません。
- AUXモードになると、接続された携帯用オーディオのプレイ操作で、再生されます。

■入力レベルを調整するには…

「携帯用オーディオの入力レベルを設定する」(44ページ)をご覧ください。

■AUX入力の接続のしかた…

本機のAUX入力RCA ピンコードへ市販のコードを使用して、携帯用オーディオを接続してください。

AUXモードを選ぶ

1 バンドボタンを押して、AUX1またはAUX2を選ぶ



→押すたびに、次のように切り換わります。

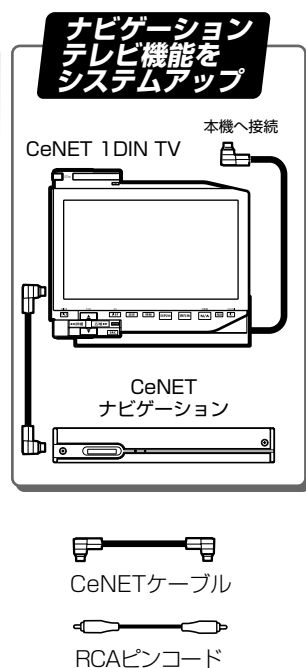
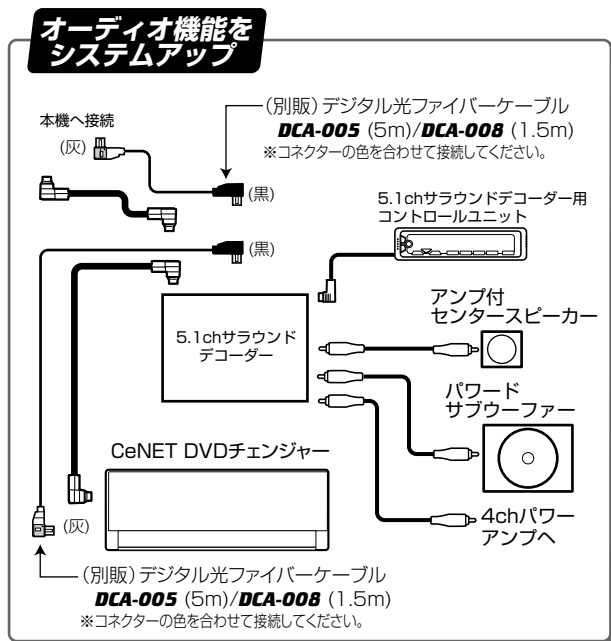
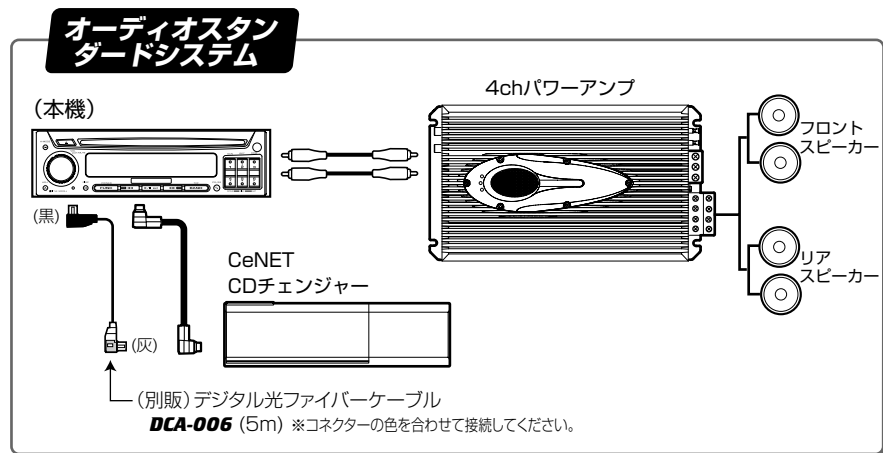
AUX-1 ↔ AUX-2

システムアップについて

本機は**CeNET** マークのついている外部機器を接続することにより、様々なシステム拡張を行うことができます。

以下のシステムアップ例は本機に接続できる機器の概要を示しています。接続可能モデルおよびそれに必要なCeNETケーブル等の詳細につきましては、販売店あるいは弊社お客様相談室にお問い合わせください。

また、接続についての詳細は、ご購入商品に付属の取付説明書をご覧ください。



CeNETケーブルについて

CeNET 接続ケーブルの最大配線長は、20m以下（CeNET 分岐ケーブルCCA-519 含む）です。接続の際は、下表をご参照のうえ、配線長が20mを越えないように、注意してください。

■CeNET接続ケーブル長一覧表

CeNET ケーブル同梱機種	ケーブル長
CeNET CD チェンジャー	5m <オス⇄オス>
別販 CeNET ケーブル	ケーブル長
CCA-519 (CeNET 分岐ケーブル)	1m <オス×2⇄メス>
CCA-520 (CeNET 延長ケーブル)	2.5m <オス⇄メス>
CCA-521 (CeNET 延長ケーブル)	0.6m <オス⇄メス>

<>内は、コネクタの形状を表しています。

故障と思われる前に

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

	現 象	原 因	処 置
共 通	電源が入らない (音が出ない)	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コードまたはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプ等接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプ等について、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

次ページに続く

故障と思われる前に

	現 象	原 因	処 置
共通	ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	「リセットボタン」を、細い棒などで約2秒間押してください。  リセットボタン リセットボタンを押したときは、設定したプリセットメモリー等が全て消えますので、もう一度設定し直してください。
ラジオ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局モードで選局してください。
CD	音がでない(イジェクトされる)	ディスクを裏表逆に入れている	ディスクの印刷面を上にして入れてください。
	音飛びするノイズなどが入る	ディスクが汚れている	ディスクを柔らかい布でふいてください。
		ディスクに大きい傷やソリがある	ディスクを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後音質が悪い	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。
その他	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次ページの「エラー表示について」を参照して、内容を確認してください。

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。
 障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。
 障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー内容	原 因	対処方法
CDモード	ERROR 2	CDメカニズムの故障と思われます	お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR 3	ディスクに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないディスクと交換してください。
		ピックアップ部に不具合があり、演奏できないときの表示	お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
CDチェンジャーモード	ERROR2	CDチェンジャー内のCDがローディングできないときの表示	CDチェンジャーのメカニズムの故障とされますので、販売店にご相談ください。
	ERROR3	ディスクに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないディスクと交換してください。
	ERROR6	マガジン内のディスクを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れた時の表示	録音されているディスクと交換してください。

上記以外のエラーが表示されたときは、60 ページを参照してリセットボタンを押してください。
 それでも復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

■CDプレーヤー部

周波数特性	: 5Hz~20kHz(±1dB)
SN比	: 112dB
ダイナミックレンジ	: 100dB
高調波ひずみ率	: 0.003%(20Hz~20kHz)

■FMチューナー部

受信周波数	: 76.0MHz~90.0MHz
実用感度	: 9dBf
50dBクワイティンク感度	: 15dBf
SN比	: 70dB
周波数特性	: 30Hz~15kHz(±3dB)
分離度	: 35dB(1kHz)
高調波ひずみ率	: 0.3%(1kHz)

■DSP/DAC部

A/D変換	: 24-bit64倍オーバーサンプリング△Σ A/Dコンバータ
D/A変換	: 96kHz・24-bit アドバンスト・セグメントD/Aコンバータ
8倍オーバーサンプリングデジタルフィルター	: 阻止帯域減衰量: -130dB
	: 通過帯域リップル: ±0.00001dB
サンプリング・レート・コンバーター	: 入力サンプリングレート(fs32k/fs44.1k/fs48k/fs96k)
	: 出力サンプリングレート(fs48k/fs96k)
DSP	: 24-bitオーディオDSP 34bit算術演算(オーバフローマージン4bit)

●MULTIモード: 4WAY-X-OVER

HIGH-HPF	: 315Hz~20kHz
MID-LPF	: 250Hz~20kHz/THROUGH
MID-HPF	: THROUGH/200Hz~20kHz
LOW-LPF	: 250Hz~10kHz/THROUGH
LOW-HPF	: THROUGH/25Hz~250Hz
SUB-W-LPF	: 25Hz~250Hz/THROUGH
SUB-W-HPF	: THROUGH/16Hz~80Hz
SLOPE	: -6dB/-12dB/-18dB(1/3octステップ) GAIN: 0~-24dB PHASE: NOR/REV
タイムアライメント	: 0~512.4cm(0.7cmステップ)
5-BAND P.EQ	: BAND1/2/3 (50Hz~20kHz) BAND4/5 (630Hz~20kHz)
	: GAIN: ±12dB Q: 0.5~12
トーンコントロール	: BASS 50Hz±12dB TREBLE 10kHz±12dB ※BASS/TREB選択時

●STANDARDモード: FRONT-2WAY

HIGH-HPF	: 315Hz~20kHz
FRONT-LPF	: 250Hz~20kHz/THROUGH
REAR-HPF	: THROUGH/25Hz~250Hz
SUB-W-LPF	: 25Hz~250Hz/THROUGH
SUB-W-HPF	: THROUGH/16Hz~80Hz
SLOPE	: -6dB/-12dB/-18dB(1/3octステップ) GAIN: 0~-24dB PHASE: NOR/REV
タイムアライメント	: 0~512.4cm(0.7cmステップ)
5-BAND P.EQ	: BAND1/2/3 (50Hz~20kHz) BAND4/5 (630Hz~20kHz)
	: GAIN: ±12dB Q: 0.5~12
トーンコントロール	: BASS 50Hz±12dB TREBLE 10kHz±12dB ※BASS/TREB選択時

●DIRECTモード: FRONT+REAR+NON-FEDER

■AMチューナー部

受信周波数	: 522kHz~1,629kHz
実用感度	: 28dBμV
SN比	: 50dB

■オーディオ部

出力レベル(CD1kHz)	: 定格4Vrms(負荷10kΩ)
	: MAX8Vrms((負荷10kΩ)

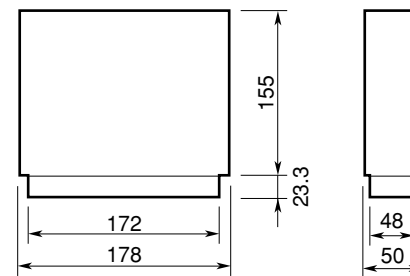
■AUX部

入力感度	
LOW	: 2.1V(4V出力時)
MID	: 1.3V(4V出力時)
HIGH	: 0.65V(4V出力時)

■共通部

電源電圧	: DC14.4V
接地方式	: マイナス接地
消費電流	: 1.4A(CD再生時)
ヒューズ定格	: 5A
外形寸法	本体部: 178(W)×50(H)×178.3(D)mm
	[取付寸法: 155(D)mm]
DC/DCコンバーター部	: 175(W)×43(H)×99(D)mm
リモコン部	: 52(W)×125(H)×12(D)mm
質量	本体部: 1.7kg
	DC/DCコンバーター部: 700g
	リモコン部: 45g(電池含む)

●本体部



■付属品

取扱説明書	1部
取付説明書	1部
修理相談窓口リスト	1部
保証書	1部
リモコン(RCB-169)	1個
電池(CR2025)	1個
電源コード	1式
DC/DCコンバーター	1台
端子カバー	1個
取付ブラケット	2個
結束バンド	1本
マシンスクリュー(M4×8)	4本
タッピングスクリュー	4本
プレートナット	4本
セムス六角ボルト(本機取付用)	4本
サラネジ(M5×8)(本機取付用)	4本

*これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

タイムアライメントリスト

下表には、1STEP遅延時間を1STEP距離0.715625cmで計算し、さらに四捨五入した値を表示しています。

1STEP 遅延時間 : 0.020833333[msec]

音速 $v=331.5+0.6 \times T$ $T=20^{\circ}\text{C}$ $v=343.5[\text{m/s}]$

$\therefore 1\text{cm}=0.029112082[\text{msec}]$ $\therefore 1\text{STEP 距離}=0.715625[\text{cm}]$

STEP	距離表示 [cm]	時間 [msec]
0	0.0	0.00
1	0.7	0.02
2	1.4	0.04
3	2.1	0.06
4	2.9	0.08
5	3.6	0.10
6	4.3	0.13
7	5.0	0.15
8	5.7	0.17
9	6.4	0.19
10	7.2	0.21
11	7.9	0.23
12	8.6	0.25
13	9.3	0.27
14	10.0	0.29
15	10.7	0.31
16	11.5	0.33
17	12.2	0.35
18	12.9	0.38
19	13.6	0.40
20	14.3	0.42
21	15.0	0.44
22	15.7	0.46
23	16.5	0.48
24	17.2	0.50
25	17.9	0.52
26	18.6	0.54
27	19.3	0.56
28	20.0	0.58
29	20.8	0.60
30	21.5	0.63
31	22.2	0.65
32	22.9	0.67
33	23.6	0.69
34	24.3	0.71
35	25.0	0.73
36	25.8	0.75
37	26.5	0.77
38	27.2	0.79
39	27.9	0.81
40	28.6	0.83
41	29.3	0.85
42	30.1	0.88
43	30.8	0.90
44	31.5	0.92
45	32.2	0.94
46	32.9	0.96
47	33.6	0.98
48	34.4	1.00
49	35.1	1.02
50	35.8	1.04
51	36.5	1.06
52	37.2	1.08
53	37.9	1.10
54	38.6	1.13
55	39.4	1.15
56	40.1	1.17
57	40.8	1.19
58	41.5	1.21
59	42.2	1.23
60	42.9	1.25
61	43.7	1.27
62	44.4	1.29
63	45.1	1.31
64	45.8	1.33
65	46.5	1.35

STEP	距離表示 [cm]	時間 [msec]
66	47.2	1.38
67	47.9	1.40
68	48.7	1.42
69	49.4	1.44
70	50.1	1.46
71	50.8	1.48
72	51.5	1.50
73	52.2	1.52
74	53.0	1.54
75	53.7	1.56
76	54.4	1.58
77	55.1	1.60
78	55.8	1.63
79	56.5	1.65
80	57.3	1.67
81	58.0	1.69
82	58.7	1.71
83	59.4	1.73
84	60.1	1.75
85	60.8	1.77
86	61.5	1.79
87	62.3	1.81
88	63.0	1.83
89	63.7	1.85
90	64.4	1.88
91	65.1	1.90
92	65.8	1.92
93	66.6	1.94
94	67.3	1.96
95	68.0	1.98
96	68.7	2.00
97	69.4	2.02
98	70.1	2.04
99	70.8	2.06
100	71.6	2.08
101	72.3	2.10
102	73.0	2.13
103	73.7	2.15
104	74.4	2.17
105	75.1	2.19
106	75.9	2.21
107	76.6	2.23
108	77.3	2.25
109	78.0	2.27
110	78.7	2.29
111	79.4	2.31
112	80.2	2.33
113	80.9	2.35
114	81.6	2.38
115	82.3	2.40
116	83.0	2.42
117	83.7	2.44
118	84.4	2.46
119	85.2	2.48
120	85.9	2.50
121	86.6	2.52
122	87.3	2.54
123	88.0	2.56
124	88.7	2.58
125	89.5	2.60
126	90.2	2.63
127	90.9	2.65
128	91.6	2.67
129	92.3	2.69
130	93.0	2.71
131	93.7	2.73

STEP	距離表示 [cm]	時間 [msec]
132	94.5	2.75
133	95.2	2.77
134	95.9	2.79
135	96.6	2.81
136	97.3	2.83
137	98.0	2.85
138	98.8	2.88
139	99.5	2.90
140	100.2	2.92
141	100.9	2.94
142	101.6	2.96
143	102.3	2.98
144	103.1	3.00
145	103.8	3.02
146	104.5	3.04
147	105.2	3.06
148	105.9	3.08
149	106.6	3.10
150	107.3	3.13
151	108.1	3.15
152	108.8	3.17
153	109.5	3.19
154	110.2	3.21
155	110.9	3.23
156	111.6	3.25
157	112.4	3.27
158	113.1	3.29
159	113.8	3.31
160	114.5	3.33
161	115.2	3.35
162	115.9	3.38
163	116.6	3.40
164	117.4	3.42
165	118.1	3.44
166	118.8	3.46
167	119.5	3.48
168	120.2	3.50
169	120.9	3.52
170	121.7	3.54
171	122.4	3.56
172	123.1	3.58
173	123.8	3.60
174	124.5	3.63
175	125.2	3.65
176	126.0	3.67
177	126.7	3.69
178	127.4	3.71
179	128.1	3.73
180	128.8	3.75
181	129.5	3.77
182	130.2	3.79
183	131.0	3.81
184	131.7	3.83
185	132.4	3.85
186	133.1	3.88
187	133.8	3.90
188	134.5	3.92
189	135.3	3.94
190	136.0	3.96
191	136.7	3.98
192	137.4	4.00
193	138.1	4.02
194	138.8	4.04
195	139.5	4.06
196	140.3	4.08
197	141.0	4.10

STEP	距離表示 [cm]	時間 [msec]
198	141.7	4.13
199	142.4	4.15
200	143.1	4.17
201	143.8	4.19
202	144.6	4.21
203	145.3	4.23
204	146.0	4.25
205	146.7	4.27
206	147.4	4.29
207	148.1	4.31
208	148.9	4.33
209	149.6	4.35
210	150.3	4.38
211	151.0	4.40
212	151.7	4.42
213	152.4	4.44
214	153.1	4.46
215	153.9	4.48
216	154.6	4.50
217	155.3	4.52
218	156.0	4.54
219	156.7	4.56
220	157.4	4.58
221	158.2	4.60
222	158.9	4.63
223	159.6	4.65
224	160.3	4.67
225	161.0	4.69
226	161.7	4.71
227	162.4	4.73
228	163.2	4.75
229	163.9	4.77
230	164.6	4.79
231	165.3	4.81
232	166.0	4.83
233	166.7	4.85
234	167.5	4.88
235	168.2	4.90
236	168.9	4.92
237	169.6	4.94
238	170.3	4.96
239	171.0	4.98
240	171.8	5.00
241	172.5	5.02
242	173.2	5.04
243	173.9	5.06
244	174.6	5.08
245	175.3	5.10
246	176.0	5.13
247	176.8	5.15
248	177.5	5.17
249	178.2	5.19
250	178.9	5.21
251	179.6	5.23
252	180.3	5.25
253	181.1	5.27
254	181.8	5.29
255	182.5	5.31
256	183.2	5.33
257	183.9	5.35
258	184.6	5.38
259	185.3	5.40
260	186.1	5.42
261	186.8	5.44
262	187.5	5.46
263	188.2	5.48

STEP	距離表示 [cm]	時間 [msec]
264	188.9	5.50
265	189.6	5.52
266	190.4	5.54
267	191.1	5.56
268	191.8	5.58
269	192.5	5.60
270	193.2	5.63
271	193.9	5.65
272	194.7	5.67
273	195.4	5.69
274	196.1	5.71
275	196.8	5.73
276	197.5	5.75
277	198.2	5.77
278	198.9	5.79
279	199.7	5.81
280	200.4	5.83
281	201.1	5.85
282	201.8	5.88
283	202.5	5.90
284	203.2	5.92
285	204.0	5.94
286	204.7	5.96
287	205.4	5.98
288	206.1	6.00
289	206.8	6.02
290	207.5	6.04
291	208.2	6.06
292	209.0	6.08
293	209.7	6.10
294	210.4	6.13
295	211.1	6.15
296	211.8	6.17
297	212.5	6.19
298	213.3	6.21
299	214.0	6.23
300	214.7	6.25
301	215.4	6.27
302	216.1	6.29
303	216.8	6.31
304	217.6	6.33
305	218.3	6.35
306	219.0	6.38
307	219.7	6.40
308	220.4	6.42
309	221.1	6.44
310	221.8	6.46
311	222.6	6.48
312	223.3	6.50
313	224.0	6.52
314	224.7	6.54
315	225.4	6.56
316	226.1	6.58
317	226.9	6.60
318	227.6	6.63
319	228.3	6.65
320	229.0	6.67
321	229.7	6.69
322	230.4	6.71
323	231.1	6.73
324	231.9	6.75
325	232.6	6.77
326	233.3	6.79
327	234.0	6.81
328	234.7	6.83
329	235.4	6.85

STEP	距離表示 [cm]	時間 [msec]
330	236.2	6.88
331	236.9	6.90
332	237.6	6.92
333	238.3	6.94
334	239.0	6.96
335	239.7	6.98
336	240.5	7.00
337	241.2	7.02
338	241.9	7.04
339	242.6	7.06
340	243.3	7.08
341	244.0	7.10
342	244.7	7.13
343	245.5	7.15
344	246.2	7.17
345	246.9	7.19
346	247.6	7.21
347	248.3	7.23
348	249.0	7.25
349	249.8	7.27
350	250.5	7.29
351	251.2	7.31
352	251.9	7.33
353	252.6	7.35
354	253.3	7.38
355	254.0	7.40
356	254.8	7.42
357	255.5	7.44
358	256.2	7.46
359	256.9	7.48
360	257.6	7.50
361	258.3	7.52
362	259.1	7.54
363	259.8	7.56
364	260.5	7.58
365	261.2	7.60
366	261.9	7.63
367	262.6	7.65
368	263.4	7.67
369	264.1	7.69
370	264.8	7.71
371	265.5	7.73
372	266.2	7.75
373	266.9	7.77
374	267.6	7.79
375	268.4	7.81
376	269.1	7.83
377	269.8	7.85
378	270.5	7.88
379	271.2	7.90
380	271.9	7.92
381	272.7	7.94
382	273.4	7.96
383	274.1	7.98
384	274.8	8.00

SOUND設定メモ

スタンダードモード

リセット操作に備えて、各種設定した設定値のご記入をおすすめします。

FILTER	FRONT	HPF	フィルター周波数(fc)	MEMORY1	MEMORY2	MEMORY3	Hz
			スロープ				dB/oct
			ゲイン(G)				dB
			位相(PHASE)	NOR/REV	NOR/REV	NOR/REV	
	FRONT	LPF	フィルター周波数(fc)				Hz
			スロープ				dB/oct
			ゲイン(G)				dB
			位相(PHASE)				
	REAR	HPF	フィルター周波数(fc)				Hz
			スロープ				dB/oct
			ゲイン(G)				dB
			位相(PHASE)	NOR/REV	NOR/REV	NOR/REV	
	SUB-W	LPF	フィルター周波数(fc)				Hz
			スロープ				dB/oct
		HPF	フィルター周波数(fc)				Hz
			スロープ				dB/oct
			ゲイン(G)				dB
			位相(PHASE)				
			フィルター周波数(fc)				Hz
			スロープ				dB/oct

タイムアライメント	FRONT	左チャンネル	MEMORY1	MEMORY2	MEMORY3	cm
		右チャンネル				cm
	FRONT	左チャンネル				cm
		右チャンネル				cm
	REAR	左チャンネル				cm
		右チャンネル				cm
	SUB-W	左チャンネル				cm
		右チャンネル				cm

PEQ	左チャンネル	バンド1	中心周波数(f0)	MEMORY1	MEMORY2	MEMORY3	Hz
			ゲイン(G)				dB
			Q				
		バンド2	中心周波数(f0)				Hz
			ゲイン(G)				dB
			Q				
		バンド3	中心周波数(f0)				Hz
			ゲイン(G)				dB
			Q				
		バンド4	中心周波数(f0)				Hz
			ゲイン(G)				dB
			Q				
	右チャンネル	バンド1	中心周波数(f0)				Hz
			ゲイン(G)				dB
			Q				
		バンド2	中心周波数(f0)				Hz
			ゲイン(G)				dB
			Q				
		バンド3	中心周波数(f0)				Hz
			ゲイン(G)				dB
			Q				
		バンド4	中心周波数(f0)				Hz
			ゲイン(G)				dB
			Q				
		バンド5	中心周波数(f0)				Hz
			ゲイン(G)				dB
			Q				

マルチモード

X-OVER	HIGH	HPF	フィルター周波数(fc)	MEMORY1	MEMORY2	MEMORY3	Hz
			スロープ				dB/oct
			ゲイン(G)				dB
			位相(PHASE)	NOR/REV	NOR/REV	NOR/REV	
	MID	LPF	フィルター周波数(fc)				Hz
			スロープ				dB/oct
		HPF	フィルター周波数(fc)				Hz
			スロープ				dB/oct
	LOW	LPF	フィルター周波数(fc)				Hz
			スロープ				dB/oct
		HPF	フィルター周波数(fc)				Hz
			スロープ				dB/oct
	SUB-W	LPF	フィルター周波数(fc)				Hz
			スロープ				dB/oct
		HPF	フィルター周波数(fc)				Hz
			スロープ				dB/oct
			ゲイン(G)				dB
			位相(PHASE)	NOR/REV	NOR/REV	NOR/REV	
			フィルター周波数(fc)				Hz
			スロープ				dB/oct

タイムアライメント	HIGH	左チャンネル	MEMORY1	MEMORY2	MEMORY3	cm
		右チャンネル				cm
	MID	左チャンネル				cm
		右チャンネル				cm
	LOW	左チャンネル				cm
		右チャンネル				cm
	SUB-W	左チャンネル				cm
		右チャンネル				cm

PEQ	左チャンネル	バンド1	中心周波数(f0)	MEMORY1	MEMORY2	MEMORY3	Hz
			ゲイン(G)				dB
			Q				
		バンド2	中心周波数(f0)				Hz
			ゲイン(G)				dB
			Q				
		バンド3	中心周波数(f0)				Hz
			ゲイン(G)				dB
			Q				
		バンド4	中心周波数(f0)				Hz
			ゲイン(G)				dB
			Q				
	右チャンネル	バンド1	中心周波数(f0)				Hz
			ゲイン(G)				dB
			Q				
		バンド2	中心周波数(f0)				Hz
			ゲイン(G)				dB
			Q				
		バンド3	中心周波数(f0)				Hz
			ゲイン(G)				dB
			Q				
		バンド4	中心周波数(f0)				Hz
			ゲイン(G)				dB
			Q				
		バンド5	中心周波数(f0)				Hz
			ゲイン(G)				dB
			Q				

その他

アフターサービスについて

■保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間

お買い求めの日より1年間です。

■万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後6年保有しています。

クラリオン株式会社

本社 〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2
Clarion ホームページ <http://www.clarion.com>

お問い合わせはお客様相談室へ

フリーダイヤル：0120-112-140

(9:00~12:00・13:00~17:30/土・日・祝祭日を除く)

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

*お客様へ … ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。